

「アジアのリーダー都市ふくおか！プロジェクト」

第9回リレーフォーラム

誰もが思いやりを持ち、すべての人に優しいまち

ユニバーサルシティ福岡

-データで語る福岡の今・未来-

2011年8月19日

(財)福岡アジア都市研究所 専門研究員 山下永子



注:本資料の数量を表すコメント(〇倍、〇億、等)は、イメージを伝えやすくするために概数を用いている場合があります。
数字を引用される場合は、グラフ・数表中のデータを用い、出典先を記載の上ご使用ください。

I. 地球・世界・日本の未来

- (1)人口
- (2)経済力
- (3)購買力
- (4)地球環境
- (5)未来技術

II. 福岡の今と未来

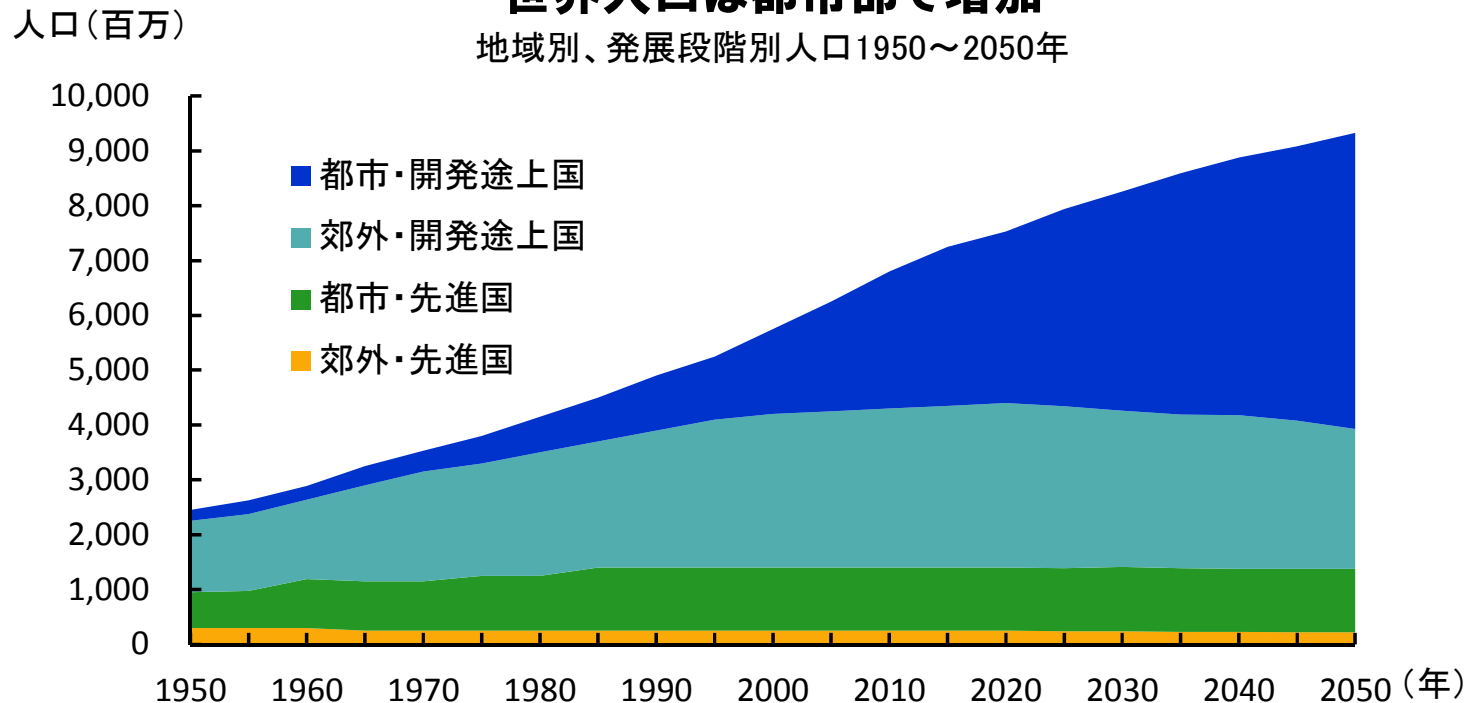
- (1)人口
- (2)生活の質
- (3)くらしのユニバーサルデザイン
- (4)こころのユニバーサルデザイン
- (5)すべての人にやさしいまち

III. 25年前を思い出しつつ、25年後を展望

- 国連は、今日から**2050年までの間に人口は70億人から93億人**になると予測
そして、その**98%は、開発途上や新興地域の都市部**で増加
- 25年後、**2036年頃の世界人口予測は、87億人**

世界人口は都市部で増加

地域別、発展段階別人口1950～2050年



資料:WBCSD「Vision 2050」2010年(グラフはUN Population Division, World Population Prospects:The 2008 Revision, 2008を基に作成されたもの)、コメントはUN Population Division, World Population Prospects:The 2010 Revision, 2010による

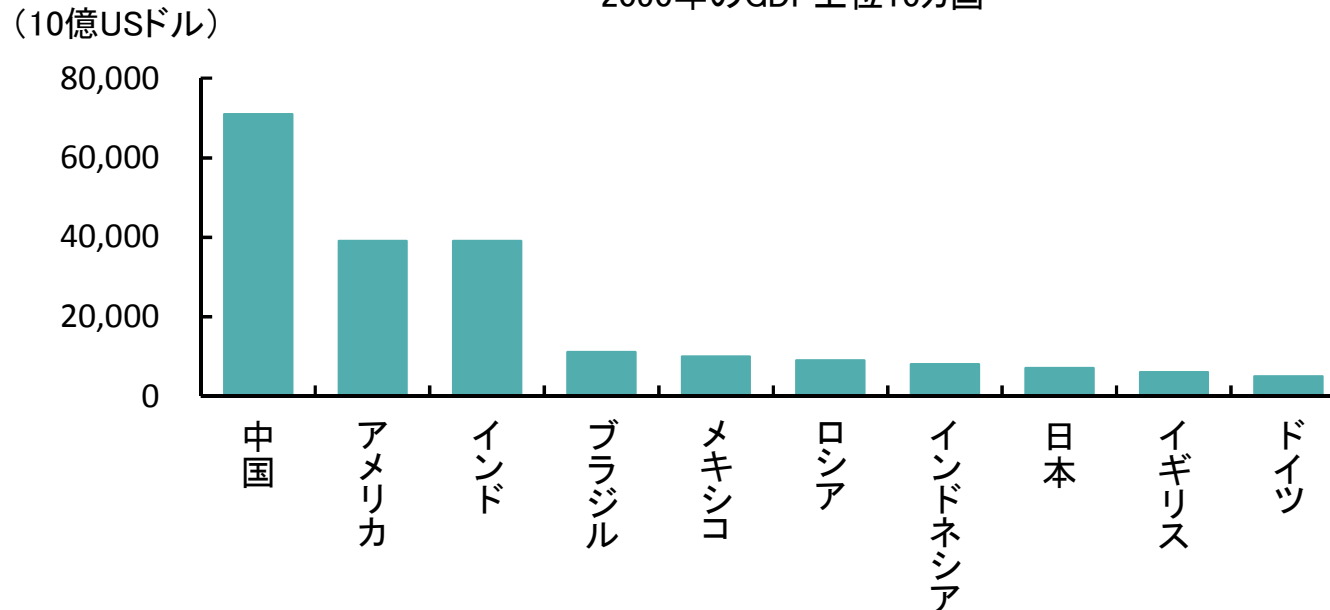
(注)日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所による

Ⅰ. 地球・世界・日本の未来(2)経済力

- 2050年、GDP世界一の座は中国に移り、2位に倍近い差
- 米国は辛うじて2位を維持しているが、インドに抜かれそうに
- 日本は8位、上位はBRICsなど新興国の独壇場に

移動するグローバル経済力

2050年のGDP上位10カ国



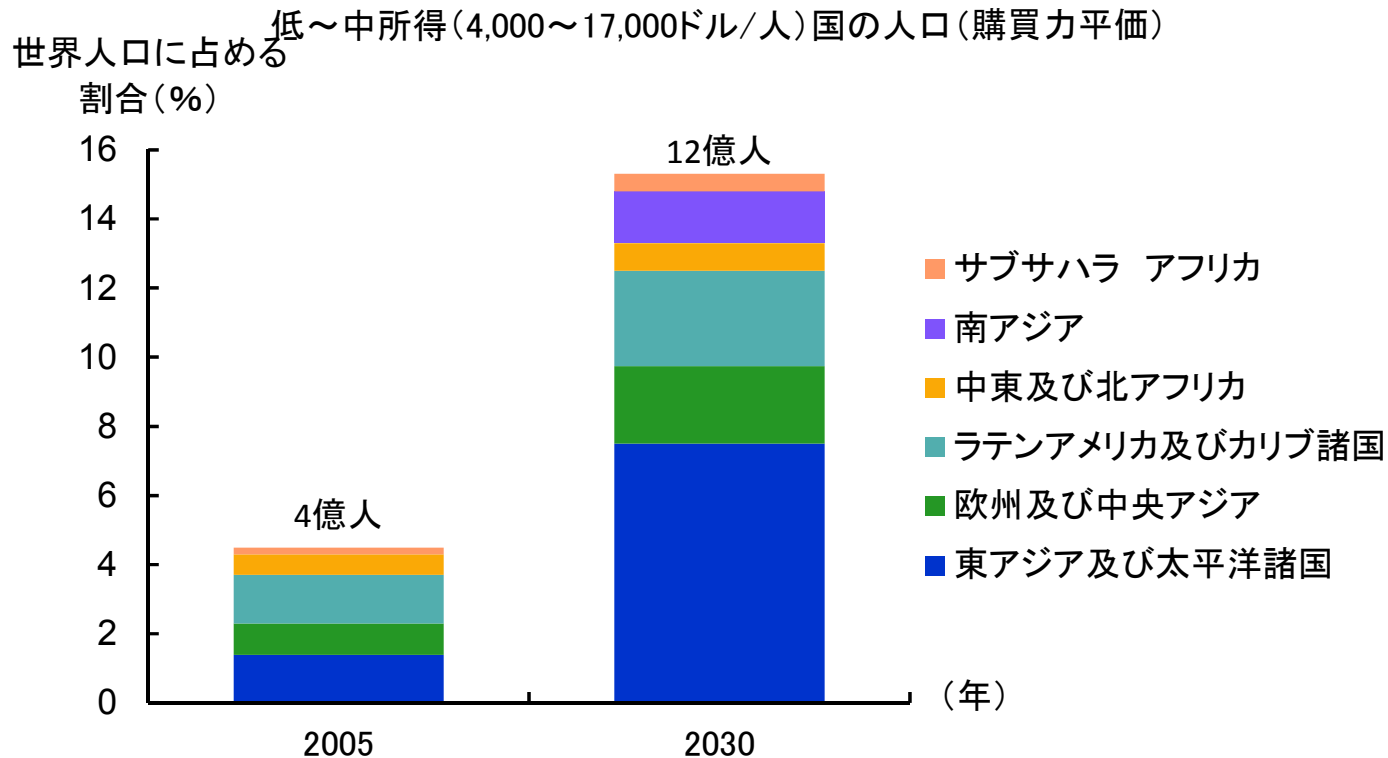
資料: WBCSD「Vision 2050」2010年 (Goldman Sachs, BRICs and Beyond, 2007を基に作成されたもの)

(注) 各国GDPは2006年為替レートによる

(注) 日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所による

- 2030年までに、低所得・中所得の国々から、新たに8億人の中間層が誕生(2005年比)
そして、その約半数がアジア太平洋地域の国々から

ミドルクラスの国が急速に成長

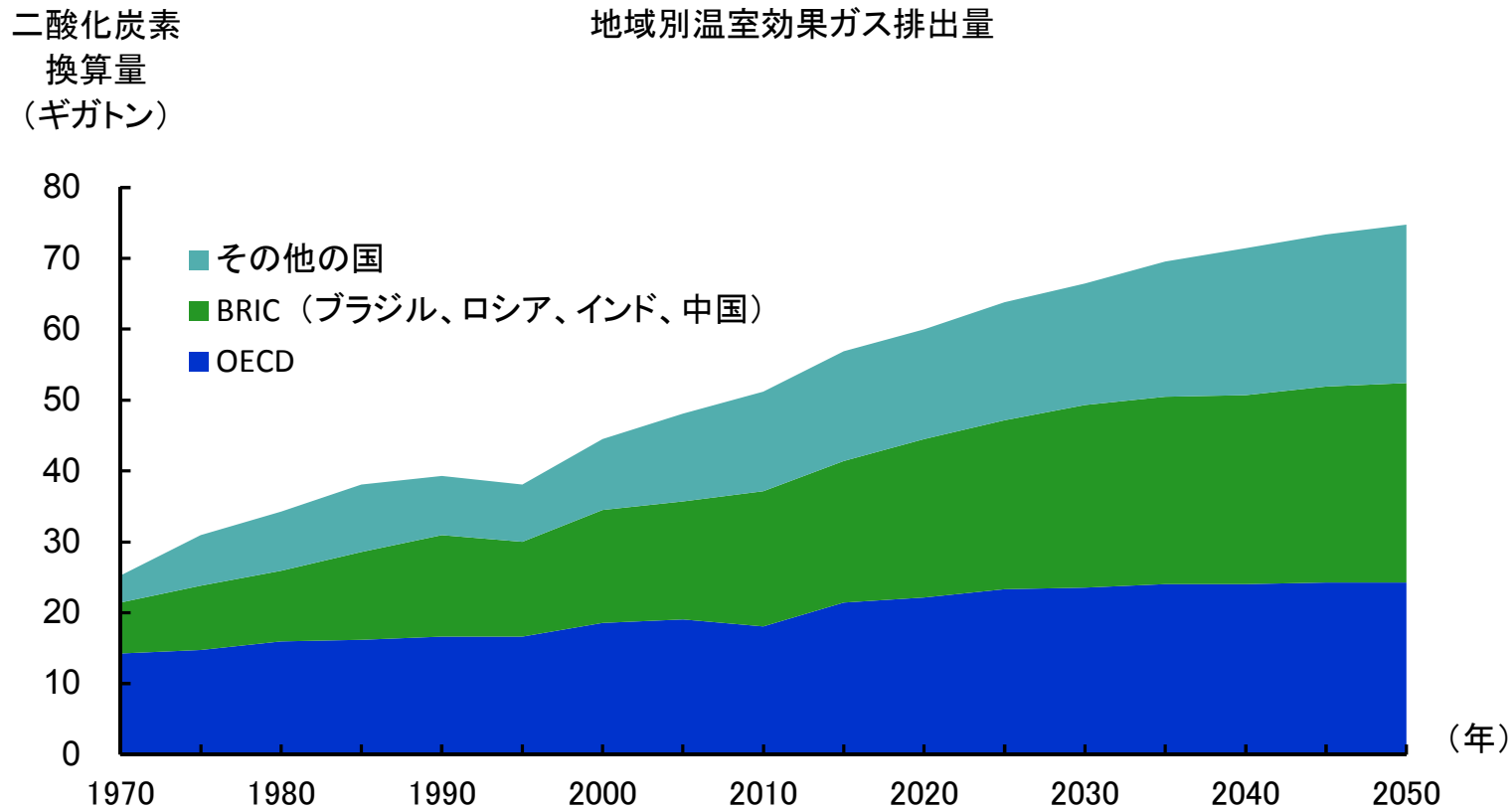


資料: WBCSD「Vision 2050」2010年 (World Bank, Global Economic Prospects, 2007を基に作成されたもの)
(注) 日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所による

1. 地球・世界・日本の未来(4)地球環境

- 2050年までに温室効果ガスは52%増加し、地球の温度は1.7-2.4度上昇
その結果、インフラや穀物などに深刻なダメージ

温室効果ガス排出量は引き続き上昇



資料:WBCSD「Vision 2050」2010年 (OECD, Environmental Outlook to 2030, 2008を基に作成されたもの)
(注)日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所によるもの

1. 地球・世界・日本の未来(5)未来技術

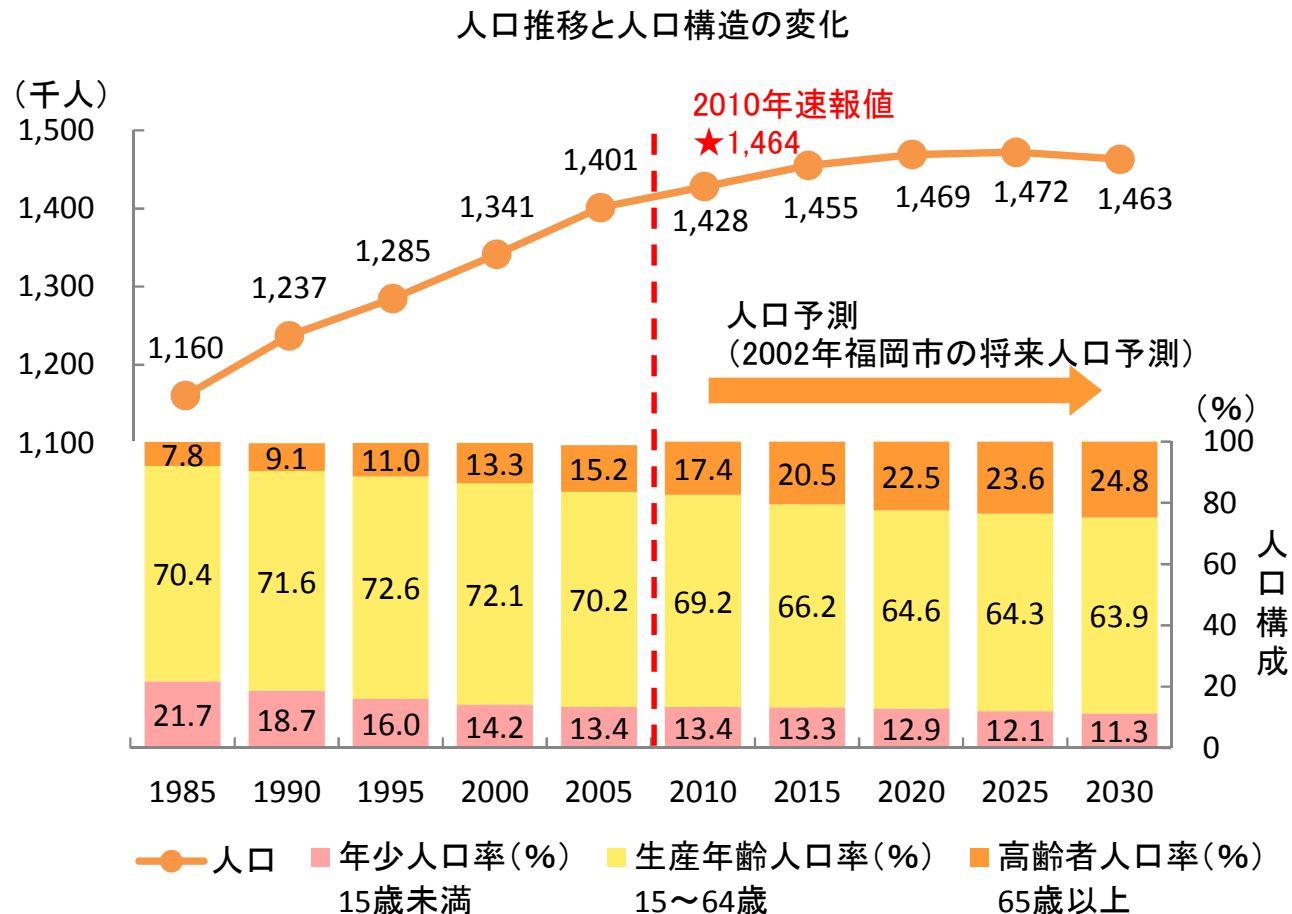
●実現可能な情報コミュニケーション・医療技術が、ユニバーサルな世界づくりに貢献

未来技術年表:研究者が予測する技術の社会実用化予測年

実現年	課題
2027	高齢者および障害者の生活支援ロボットを含めた 知的コミュニケーション型住環境システム
	高齢者や子供乗せ利用者が安全かつ高速で車道を走行できる、様々なセンサーと、危険回避システムを備えた実用価格帯の自転車が普及する
2028	感覚機能を備えた義手・義足
2029	言語だけでなく文化的背景や地名人名などの 固有名詞なども自動学習し機械翻訳 できるシステム
2030	超高齢社会において高齢者が単独で安心してdoor-to-doorの移動ができる、地区から広域に至る シームレスな交通システム が普及する
2033	筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの 運動障害のある人が自分の意志・意図を直感的に対話相手に伝えられる ようなポータブル会話環境
	統合失調症やそううつ病の原因の分子レベルでの解明に基づく治療法
	幹細胞の移植により、脳機能障害からの回復を促進する治療法
	高齢者の脳機能の低下を抑制し、認知症の体系的な予防・治療法
2034	発達障害(広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥・多動性障害<ADHD>)の分子レベルでの原因解明に基づく治療法
2038	視覚障害者が健常者と同程度の安全性で日常生活を送ることができる 人工視覚
2039	第三者の視覚、聴覚の支援を行うための、 自分の目や耳で得た情報を当該第三者の脳に直接伝達 する技術

II. 福岡の今と未来(1)人口

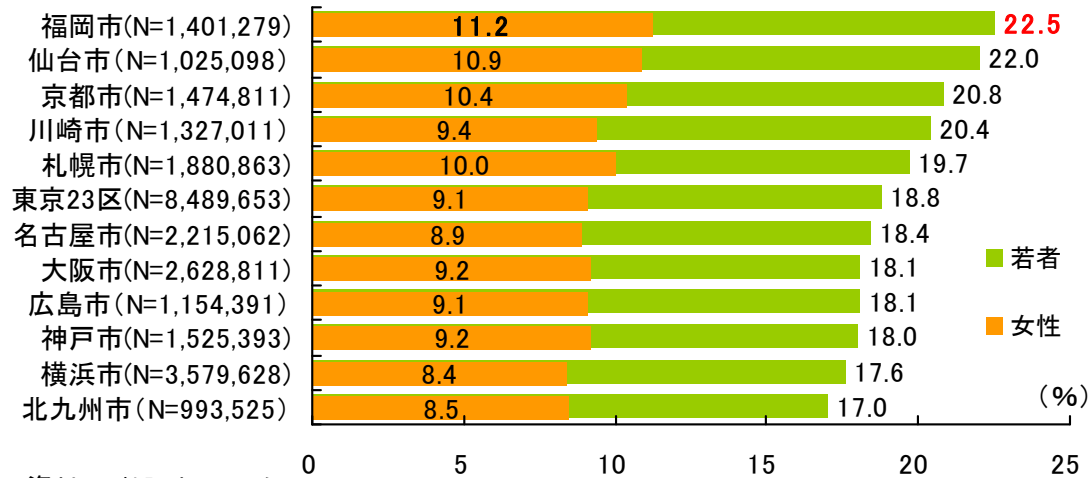
- 2025年ごろ、福岡市の人口はゆるやかな減少に転じるが、老化は勢いを増しながら進行
- 2030年、福岡市・福岡都市圏は現状維持の人口だが、九州では1300万⇒1100万人へ減



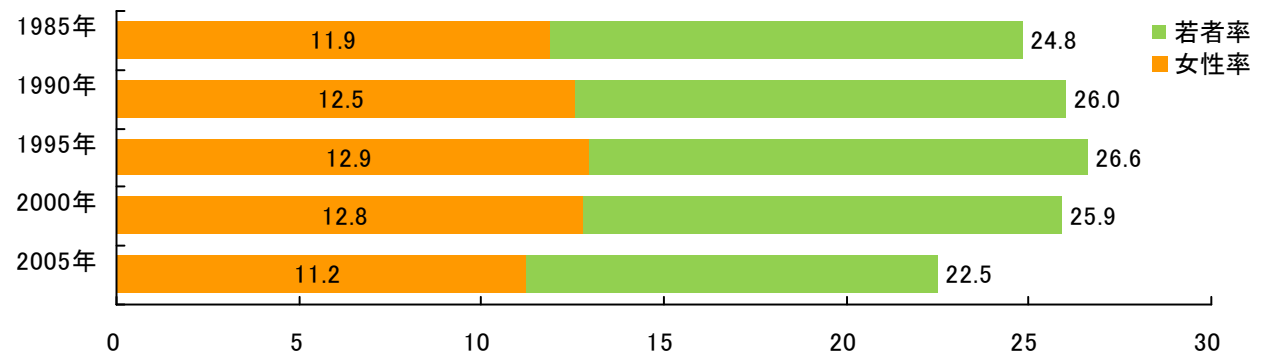
資料: 国勢調査(1985-2005年)、★は国勢調査速報値(2010年)、福岡市による推計値(2010~2030年)

●現在、福岡市は大都市の中でも若者(特に女性)が多く、活気があり華やかな都市だがこの25年間で、若者率は減少に推移

12大都市の総人口に占める若者率(15歳～29歳)と女性の割合



福岡市の総人口に占める若者率(15歳～29歳)と女性の割合の推移



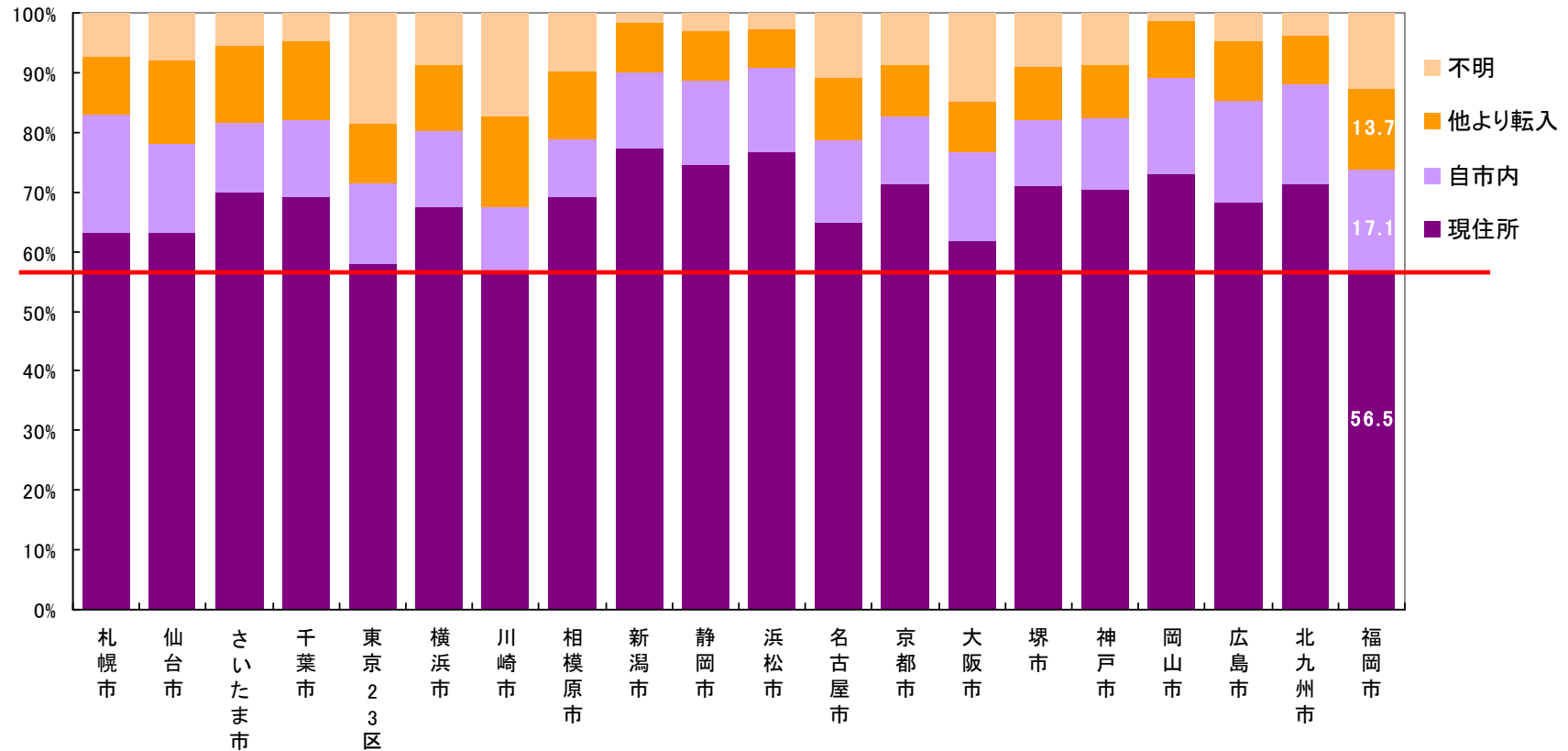
資料: 国勢調査

(注) 福岡市母数: 1985年(N=1,160,440)、1990年(N=1,237,062)、1995年(N=1,284,795)、2000年(N=1,341,470)、2005年(N=1,401,279)

II. 福岡の今と未来(1)人口

- 5年前に現住所に住んでいた福岡市民の割合は56.5%、大都市のなかでは最も低い値
- 福岡市は、市内移動も流入流出も多い

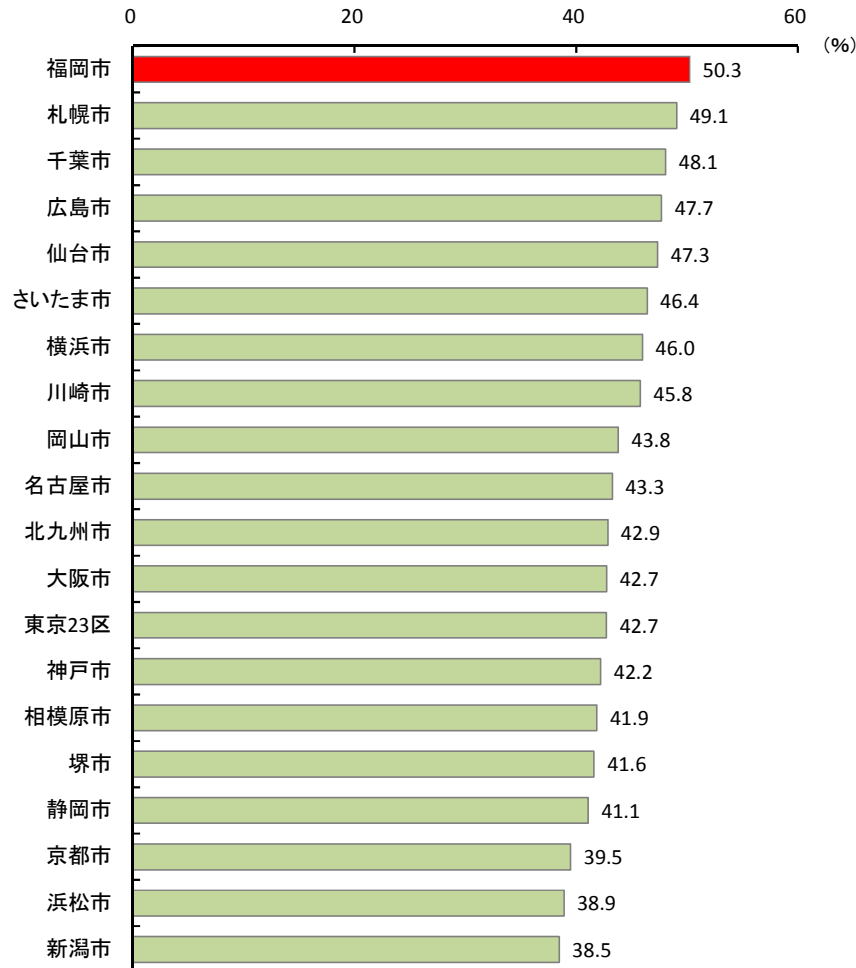
大都市都市別 5年前の常住地の割合(2010年)



資料: 2010年国勢調査

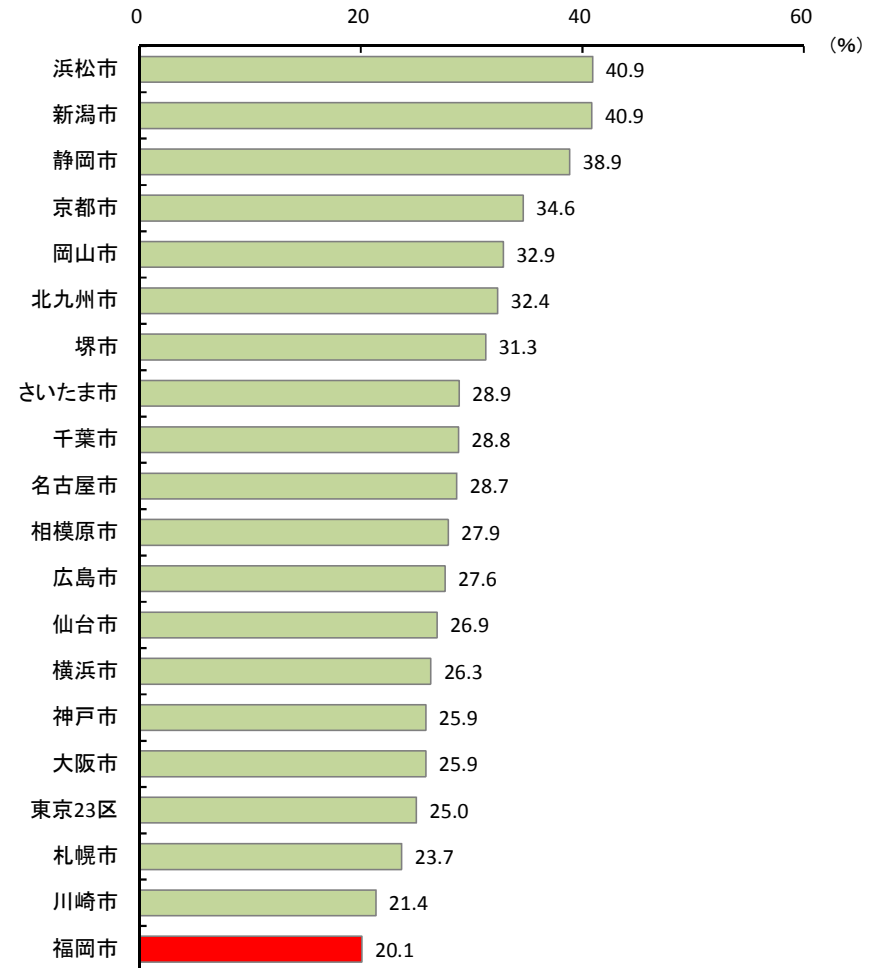
●参考: **居住年数10年未満の人が50%、20年以上の人は20%**
 (現在の場所に住んでいる人)

居住年数10年未満人口比率大都市比較



資料:平成22年国勢調査速報
 (注)1%抽出による速報値

居住年数20年以上人口比率大都市比較



資料:平成22年国勢調査速報
 (注)1%抽出による速報値

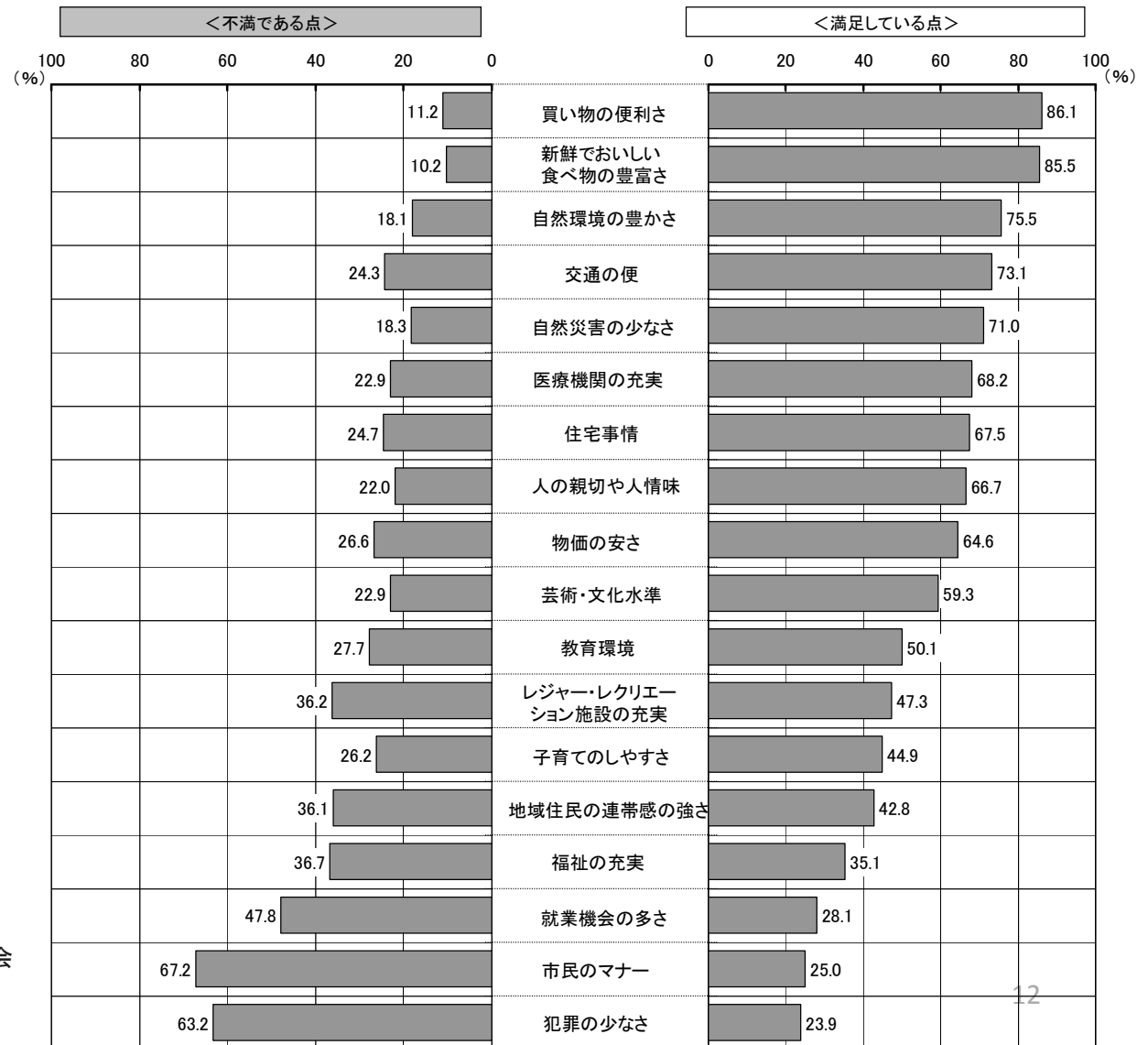
II. 福岡の今と未来(2)生活の質

- 福岡市民の約9割は、福岡市は「住みやすく」「住み続けたい」都市⇒福岡大好き
- 満足している点のトップ3は

- 1位 買い物の便利さ
- 2位 新鮮で美味しい食べ物の豊富さ
- 3位 自然環境の豊かさ

●不満足である点のワースト3は

- 1位 市民のマナー
- 2位 犯罪（※1）
- 3位 就業機会（※2）

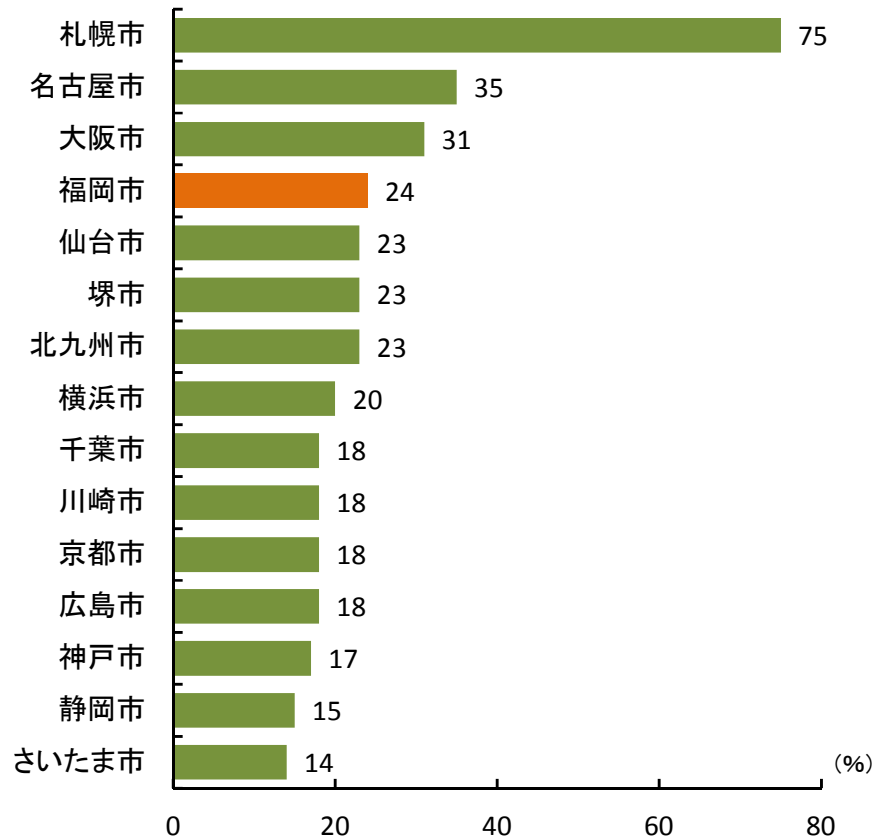


資料：平成22年度福岡市市政に関する意識調査(2011年)
 (注)調査原票では※1が「犯罪の少なさ」、※2が「就業機会の多さ」と記載されている。

II. 福岡の今と未来(3) 暮らしのユニバーサルデザイン

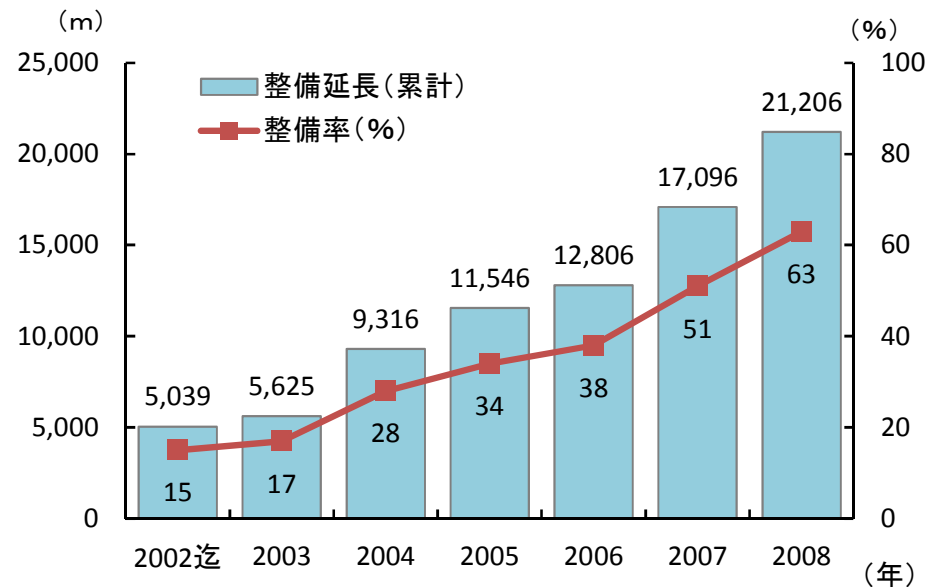
- 福岡市の歩道設置割合は24%、バリアフリー化率は63%、とハードのユニバーサルデザイン化は進んでいる

大都市の歩道設置割合(2006年)



資料: 福岡市道路整備アクションプラン2011

福岡市の道路バリアフリー化率の推移

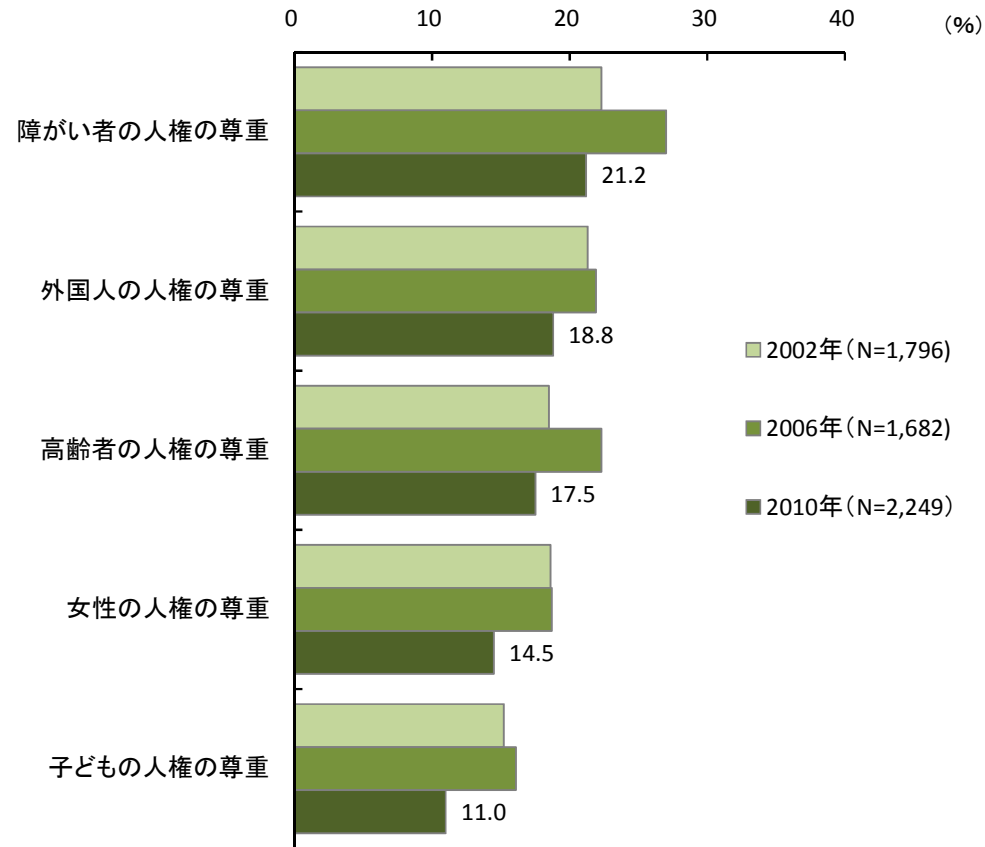


資料: 福岡市保健福祉局「バリアフリー整備状況等現状評価業務委託報告書」平成22年
(注)重点整備地区における特定経路整備(バリアフリー化)率

II. 福岡の今と未来(4)こころのユニバーサルデザイン

●福岡市の心のユニバーサルデザイン化は、まだまだ、進めていく余地がある

福岡市民で、個々の人権について
尊重されていないと回答した人の割合



資料:福岡市「平成22年度 福岡市新・基本計画の成果指標に関する意識調査」

(注)それぞれの人々について差別や偏見がなく人権が尊重されているかどうかについて

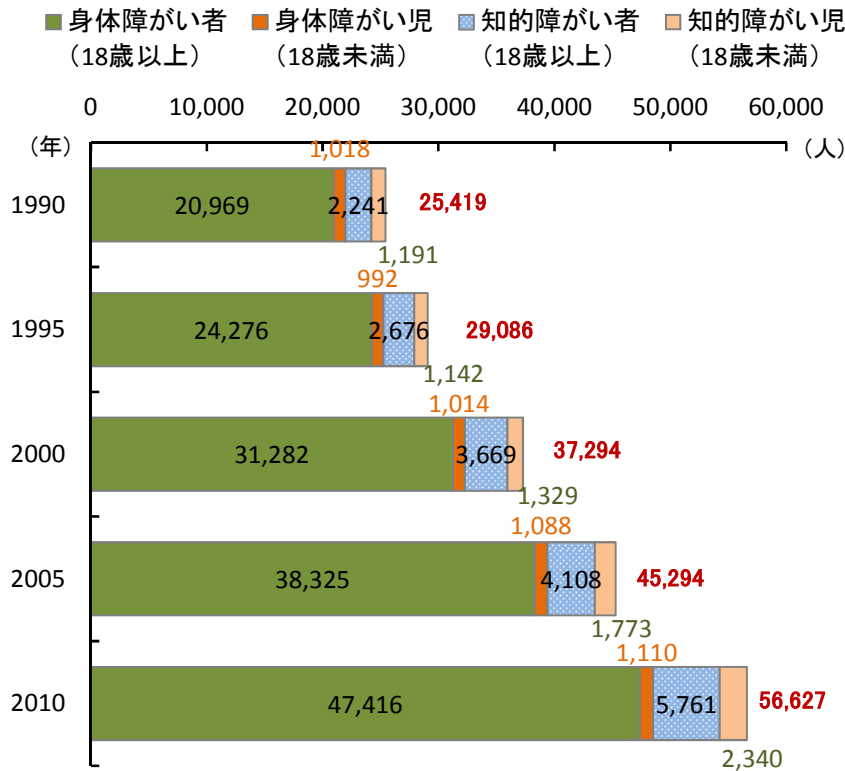
「A.重視されている」「B.重視されていない」のどちらに近いかを質問

肯定評価:「Aに近い」「ややAに近い」の合計値、否定評価:「Bに近い」「ややBに近い」の合計値

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

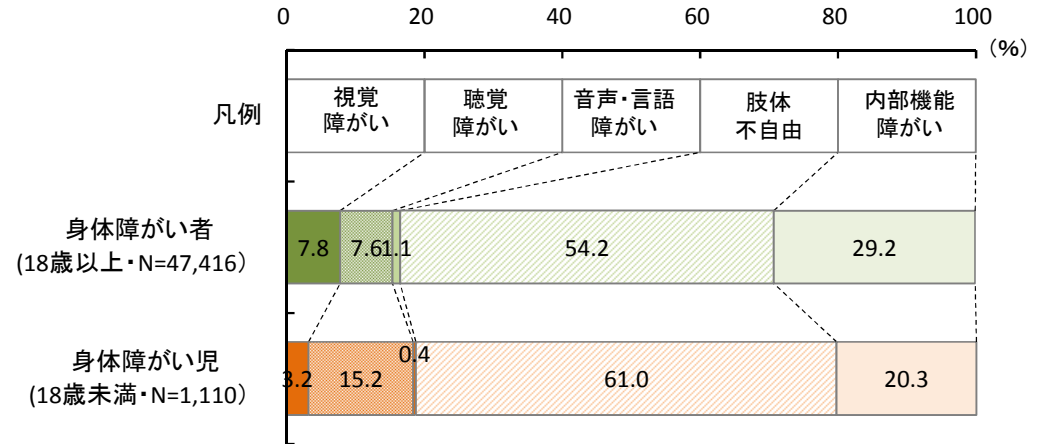
- 福岡市で、障がいを持つ方のほとんどが18歳以上
- まわりの人から見て「障がいを持つ」ことがわからない方が4割以上

福岡市の身体及び知的障がい児・障がい者数
(手帳所持者数)の推移



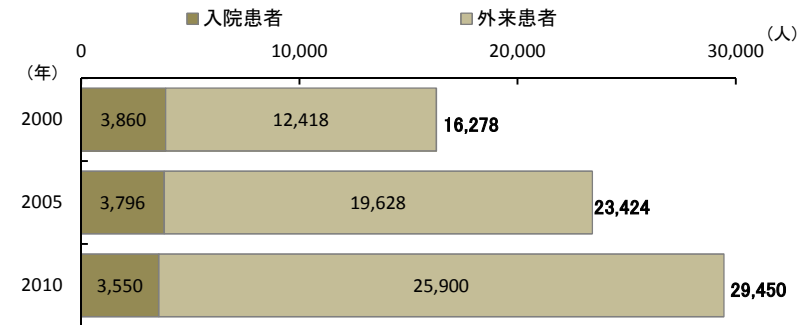
資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)

福岡市の身体障がい児・障がい者(手帳所持者数)の障がい種別割合



資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年6月末現在

福岡市の精神障がい児・障がい者数
(精神科に入院・通院している患者数)の推移



資料: 福岡市「福岡市精神障がい者の実態と保健医療福祉サービスに関する調査」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施

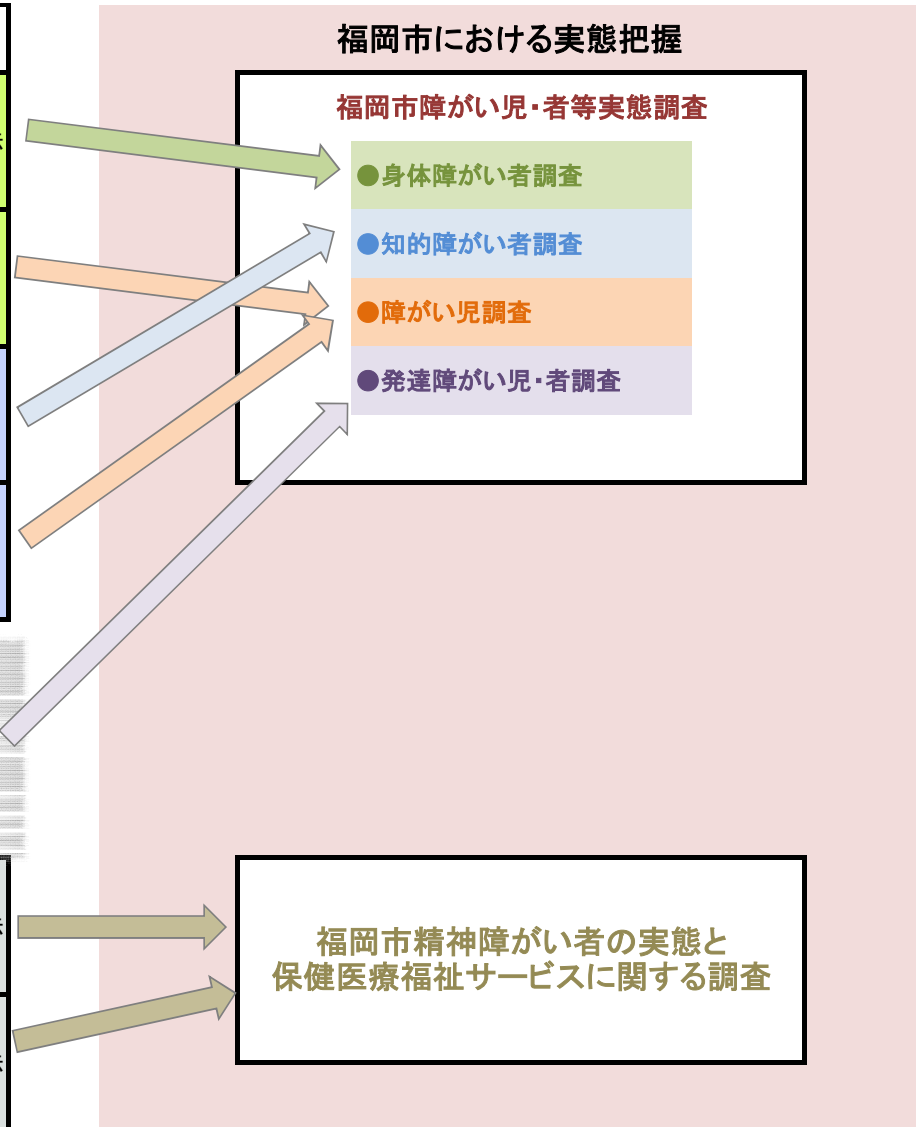
II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

●参考:障がいを持つ方に関する定義

障がいの種類	障がいの定義	対象年齢 (適用される法律)
身体障がい	下記に掲げる身体上の障がいがあり都道府県知事から身体障害者手帳の交付を受けたもの (障がいの種類) ①視覚障がい ②聴覚又は平衡機能の障害 ③音声機能、言語機能又は咀嚼機能の障がい ④肢体不自由 ⑤心臓、じん臓又は呼吸器の機能の障がいその他政令で定める障がい	18歳以上 (身体障害者福祉法第4条)
		18歳未満 (児童福祉法第4条第2項)
知的障がい	知的発達の遅れ(概ねIQ75以下)により日常生活への支障や、判断能力が不十分なもの	18歳以上 (知的障害者福祉法)
		18歳未満 (児童福祉法第4条第2項)

発達障がい
(発達障害者支援法第2条)
自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいその他これに類する脳機能の障がい。通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの。18歳未満は「児」

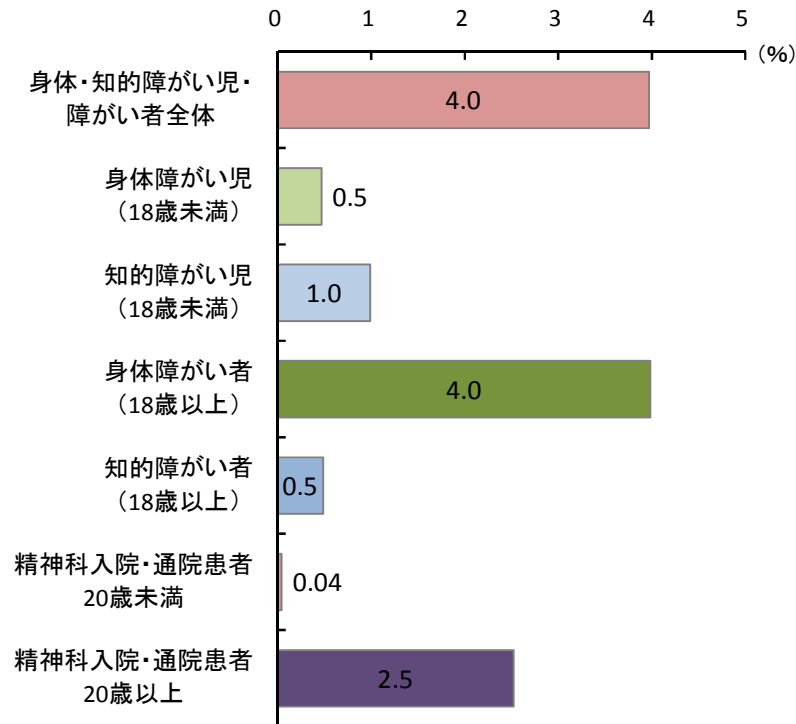
精神障がい	統合失調症、精神作業物質による急性中毒又はその依存症、知的障がい、精神病質その他の精神疾患を有するもの	18歳以上 (精神障害者福祉法第5条)
		18歳未満 (精神障害者福祉法第5条)



II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

●福岡市民の25人に1人(56,627名)は、障がいを持つ方

福岡市の障がい児・障がい者(手帳所持者数)と精神科入院・通院患者数の人口に占める割合



資料:福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
福岡市「福岡市精神障がい者の実態と保健医療福祉サービスに関する調査」(2011年3月)
(注)身体・知的障がい者は、身体障害者手帳、療育手帳 所持者数(2010年6月末)
人口は2010年6月末の住民基本台帳登録人口と外国人登録人口合計値
(注)精神科入院・通院患者は2011年11月時点の患者数
人口は2010年9月末の住民基本台帳登録人口と外国人登録人口合計値
(注)身体・知的障がい児、障がい者調査と精神障がい者調査の対象区分の違いにより年齢区分が異なる

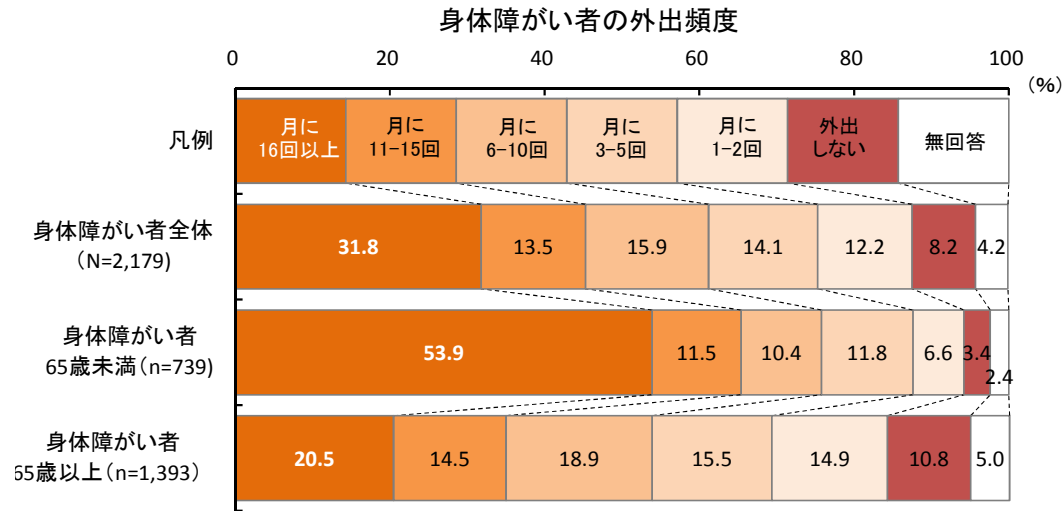
福岡市の人口に対する障がい者等人数の状況

※身体障がい児・障がい者 知的障がい児・障がい者合計	56,627人	※市民25人に1人が対象者
身体障がい児 (18歳未満)	1,110人	
知的障がい児 (18歳未満)	2,340人	
身体障がい者 (18歳以上)	47,416人	
知的障がい者 (18歳以上)	5,761人	
精神科入院・通院患者合計	29,450人	
精神科入院・通院患者 20歳未満	106人	
精神科入院・通院患者 20歳以上	29,344人	

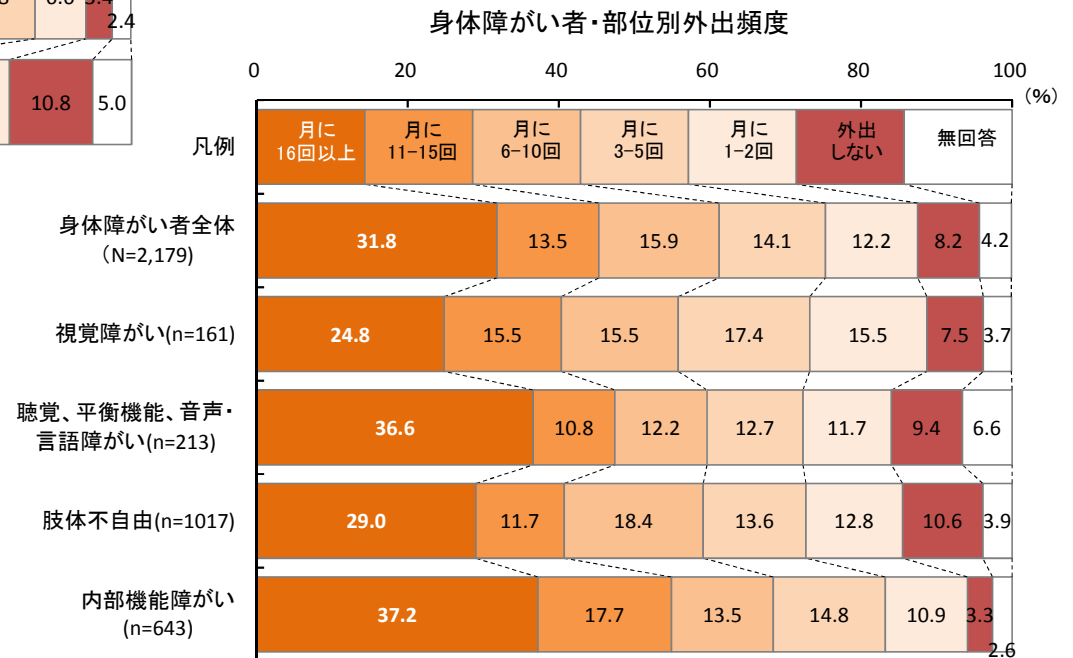
資料:福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
福岡市「福岡市精神障がい者の実態と保健医療福祉サービスに関する調査」(2011年3月)
(注)身体・知的障がい者は、身体障害者手帳、療育手帳 所持者数(2010年6月末)
人口は2010年6月末の住民基本台帳登録人口と外国人登録人口合計値
(注)精神科入院・通院患者は2011年11月時点の患者数
人口は2010年9月末の住民基本台帳登録人口と外国人登録人口合計値
(注)身体・知的障がい児、障がい者調査と精神障がい者調査の対象区分の違いにより年齢区分が異なる

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

- 身体障がいを持つ方は、65歳以上になると、2日に1度以上外出する人が激減する
- 身体障がいのなかでも、障がい部位によって、外出頻度は異なる



資料：福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)年齢別は「無回答」除く

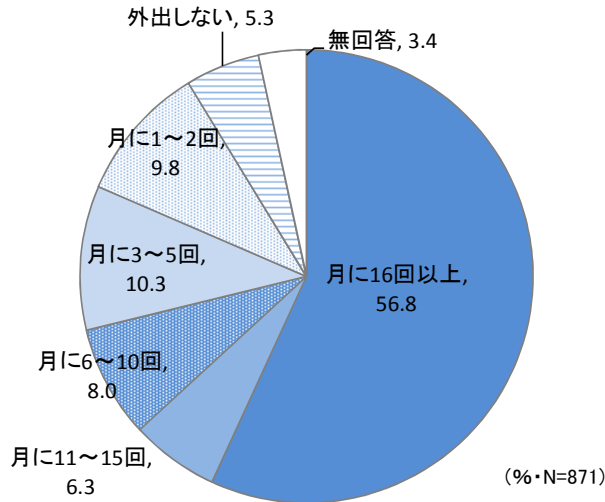


資料：福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)障がい部位別は「その他」「無回答」除く

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

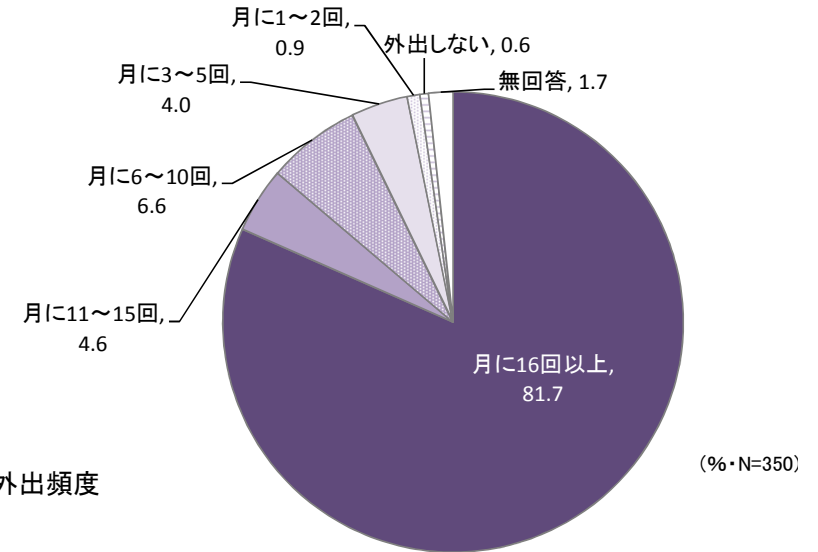
●参考

知的障がい者の外出頻度



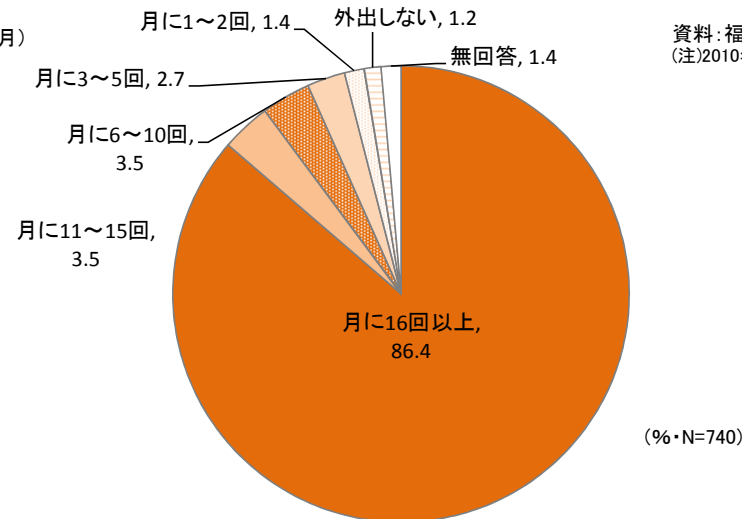
資料：福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施

発達障がい児・障がい者の外出頻度



資料：福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施

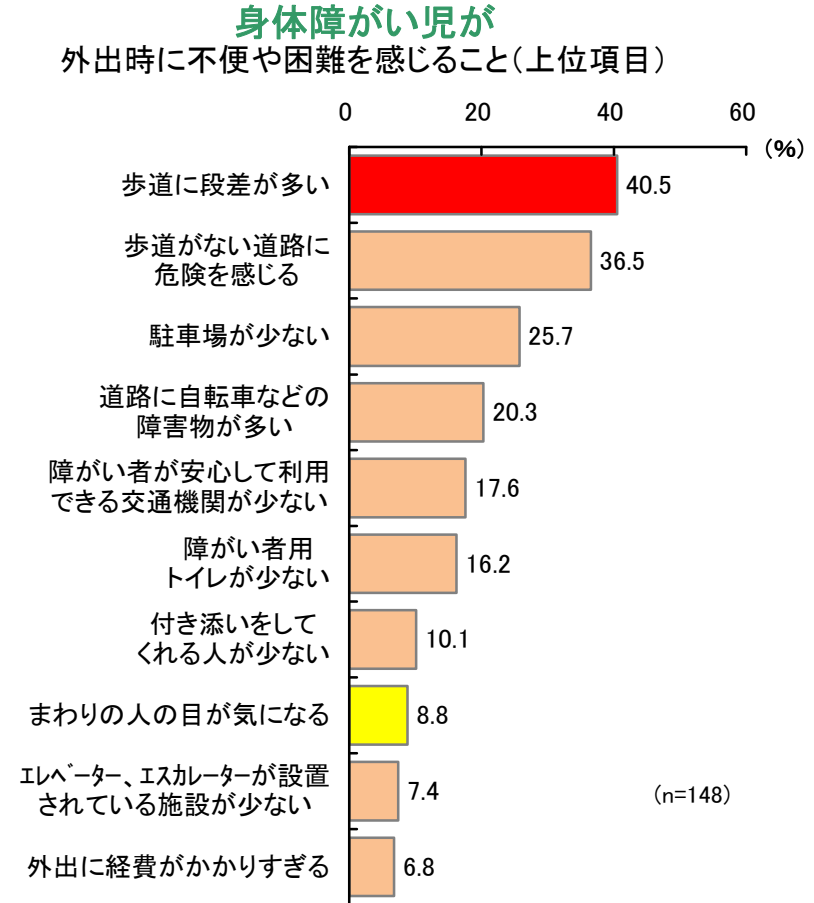
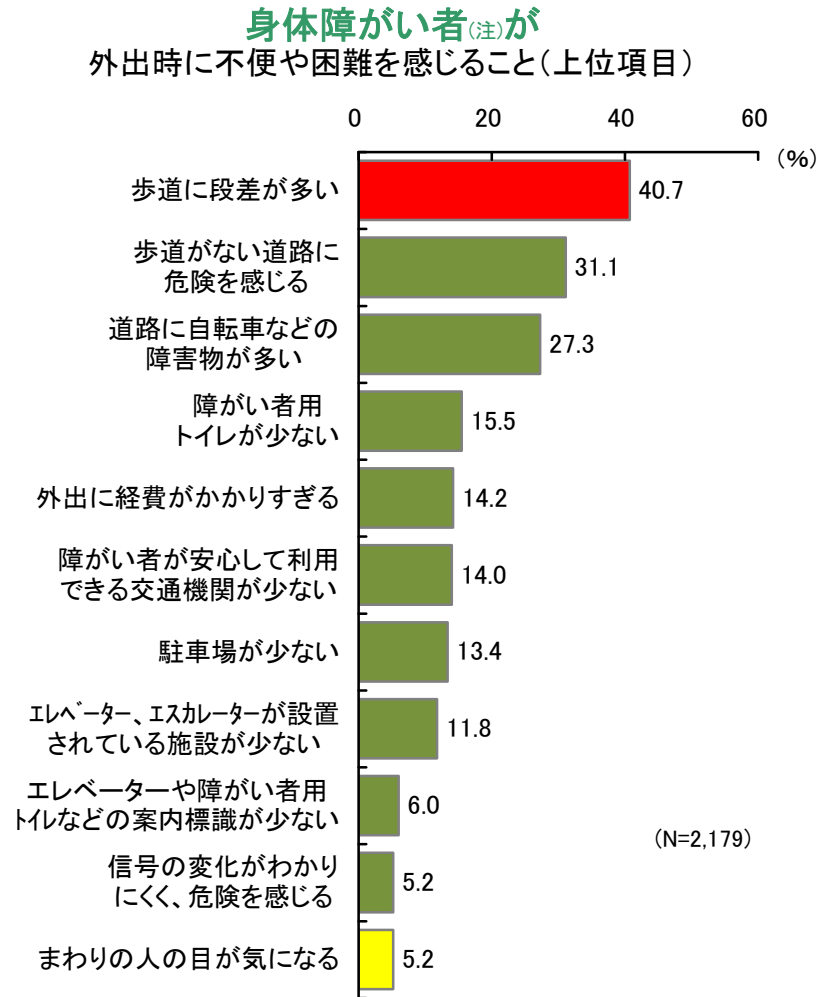
障がい児(身体・知的・重複)の外出頻度



資料：福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

● 障がいの種類によって、不便や困難を感じる場面が異なる

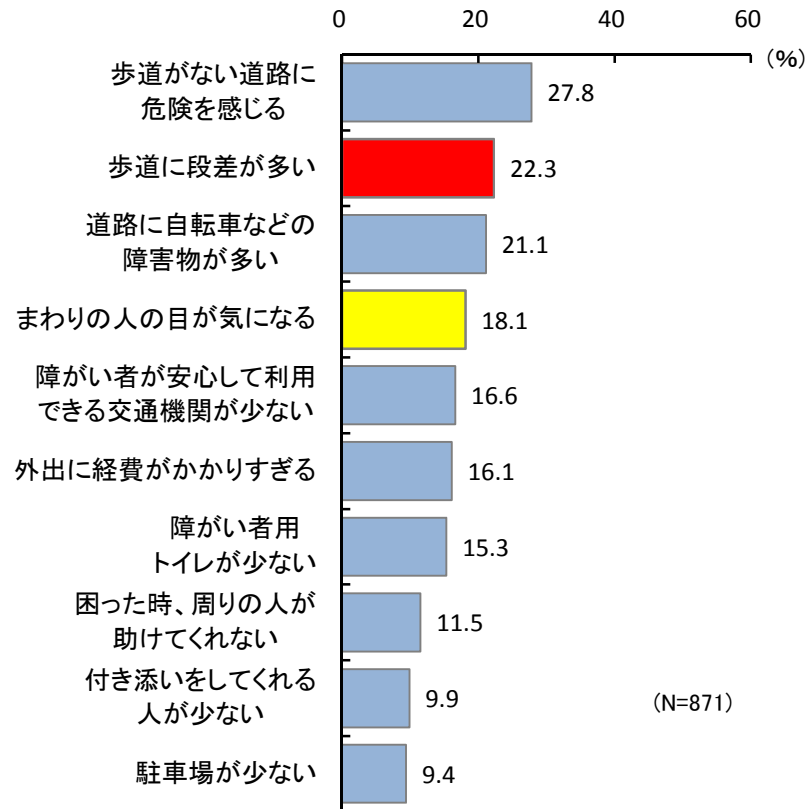


資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)枠内は身体障がい児で相対的に高い項目

資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)身体障がい者: 視覚障がい者、聴覚・平衡機能・音声・言語障がい者、肢体不自由者、内部機能障がい者、その他障がい者の合計

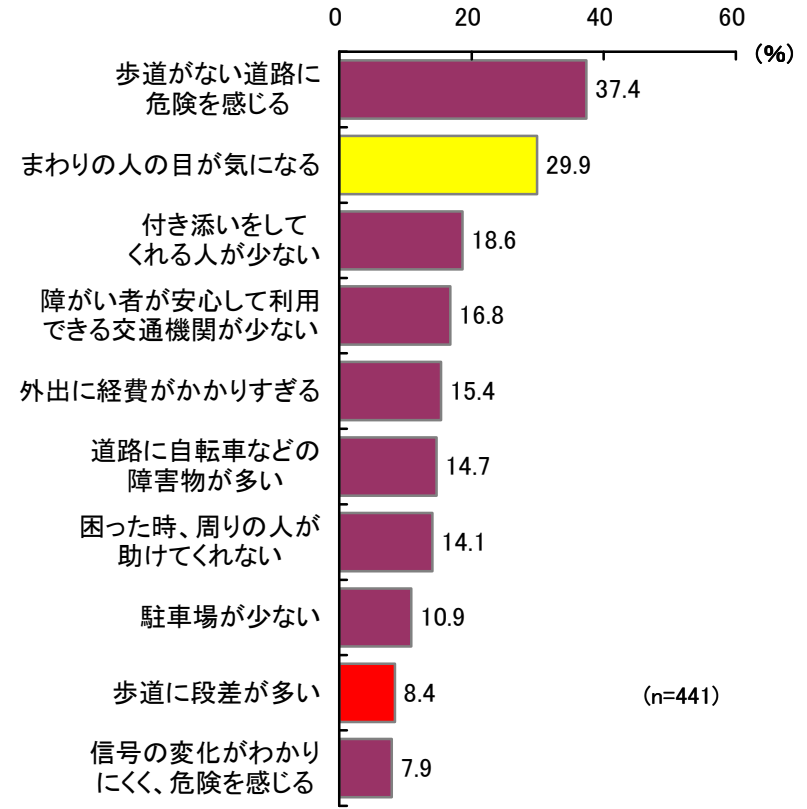
II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

知的障がい者が
外出時に不便や困難を感じること(上位項目)



資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)枠内は知的障がい者で相対的に高い項目

知的障がい児が
外出時に不便や困難を感じること(上位項目)

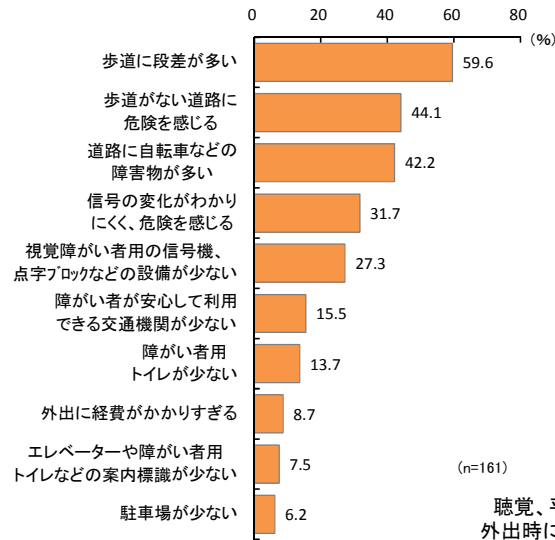


資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)枠内は知的障がい児で相対的に高い項目

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

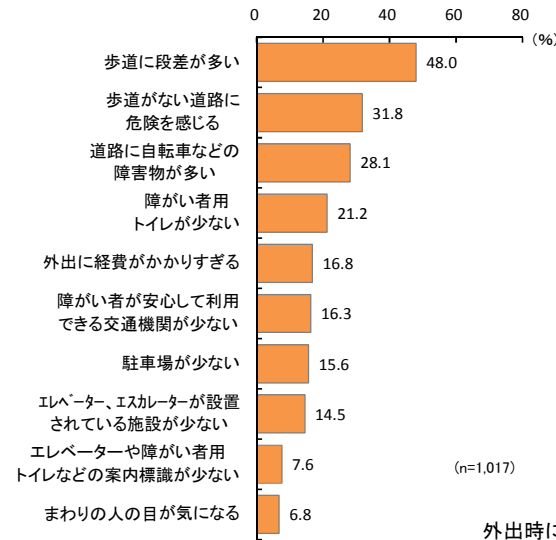
●参考

視覚障がいの人が
外出時に不便や困難を感じること(上位項目)



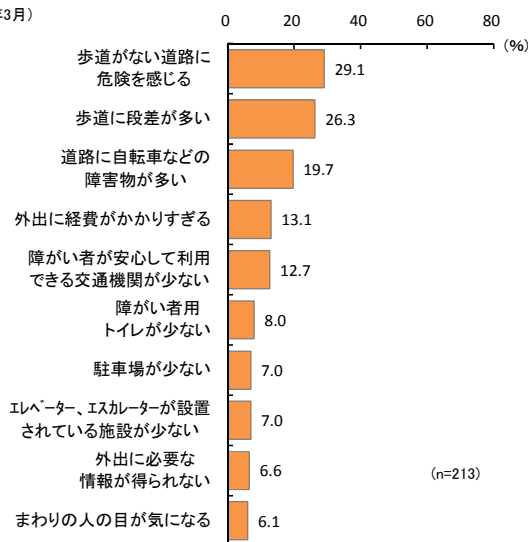
資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)枠内は視覚障がい者で相対的に高い項目

肢体不自由の人が
外出時に不便や困難を感じること(上位項目)



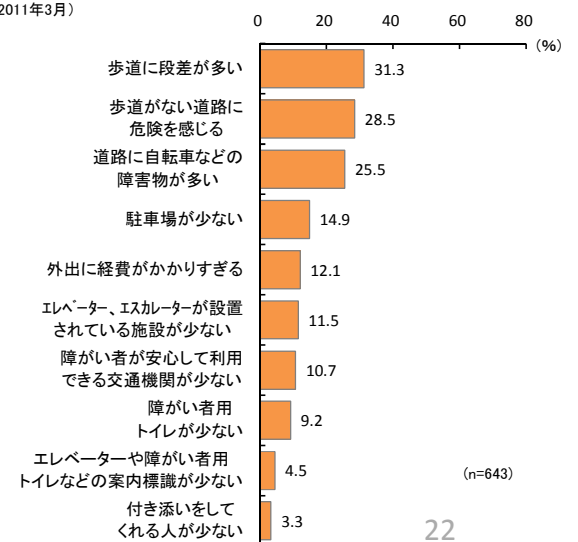
資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施
(注)枠内は肢体不自由の人が相対的に高い項目

聴覚、平衡機能、音声・言語障がいの人が
外出時に不便や困難を感じること(上位項目)



資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施

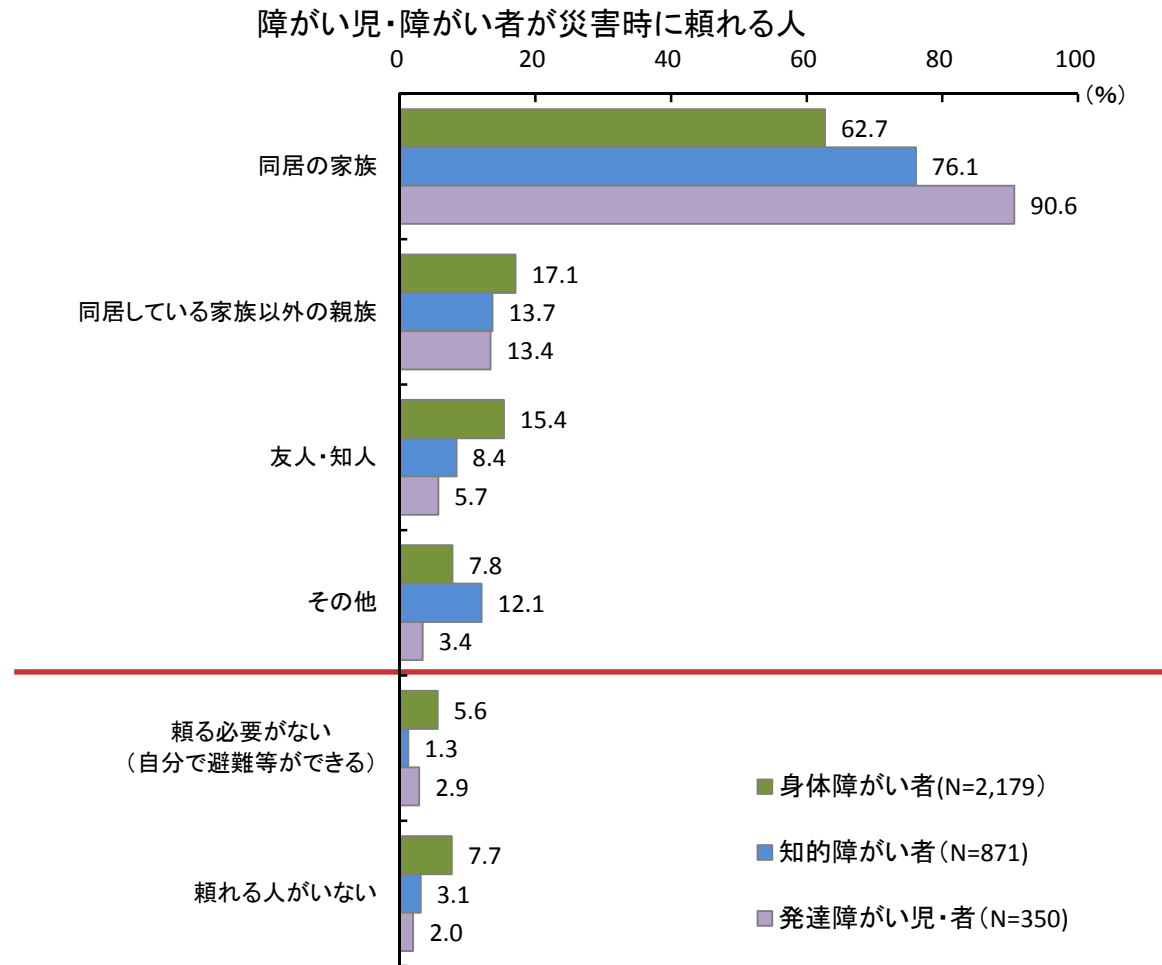
内部機能障がいの人が
外出時に不便や困難を感じること(上位項目)



資料: 福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
(注)2010年9月～2011年1月実施

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

●身体に障がいを持つ方の1割近くが、「災害時に、頼れる人がいない」と回答

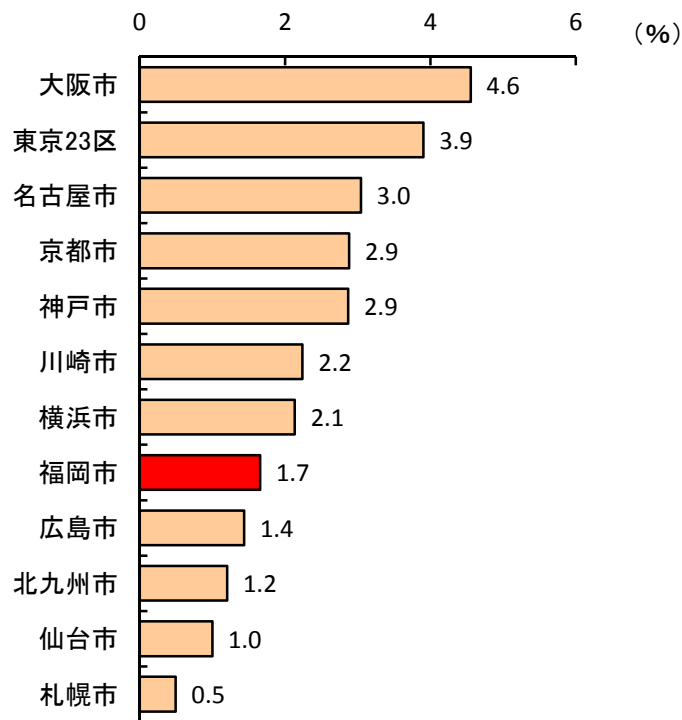


資料:福岡市「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」(2011年3月)
 (注)2010年9月～2011年1月実施
 (注)障がい児調査には設問なし

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

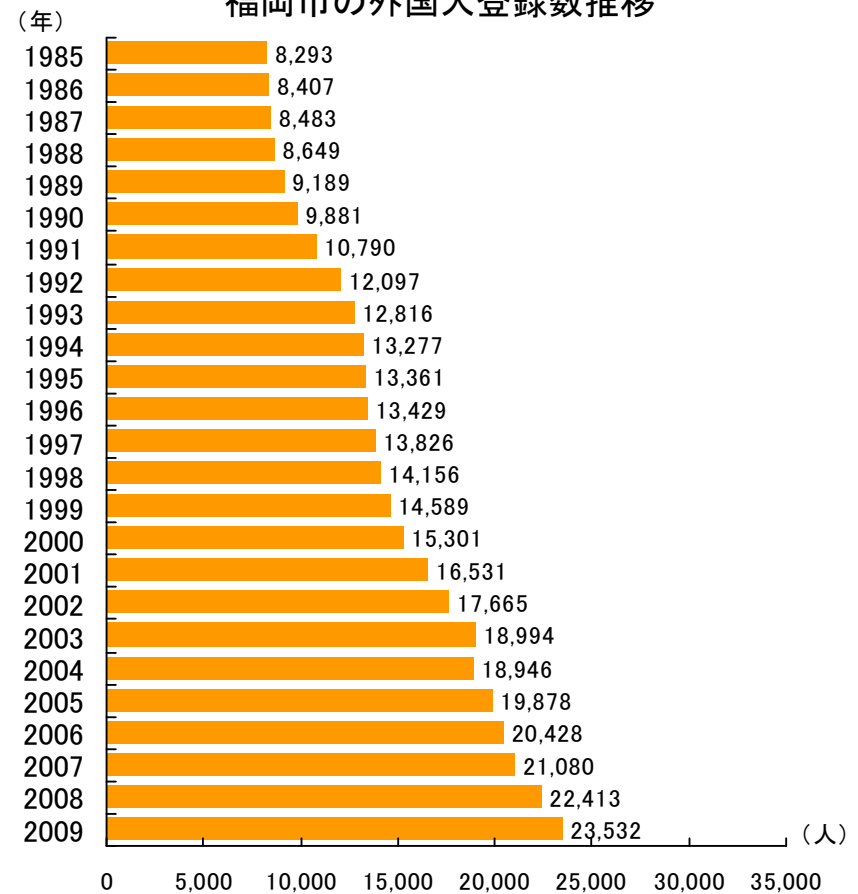
●福岡市民の約60人に1人(23,532名)は、登録外国人である

総人口に占める外国人登録者の割合【12大都市比較】



資料: 人口は住民基本台帳、
 外国人登録者数は法務省入国管理局調べ
 (注) 人口は2010年3月末、外国人登録者数は
 2009年12月末を基準

福岡市の外国人登録数推移

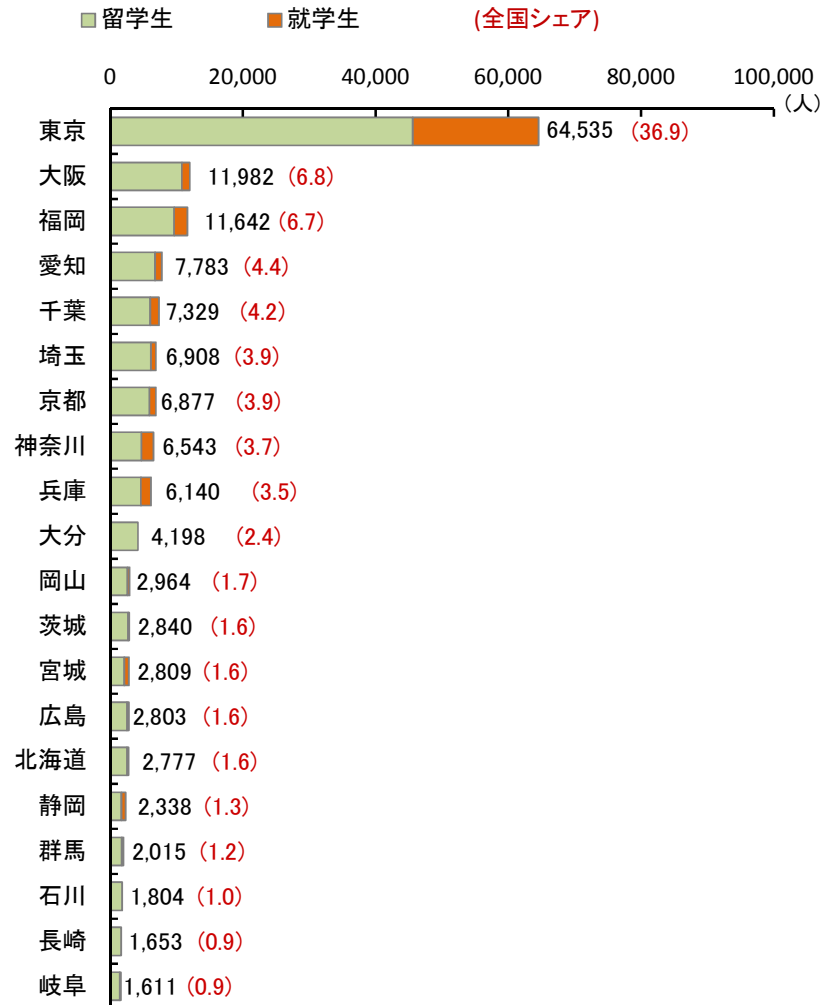


資料: 1985~2008年は大都市比較年報、2009年は法務省入国管理局調べ

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

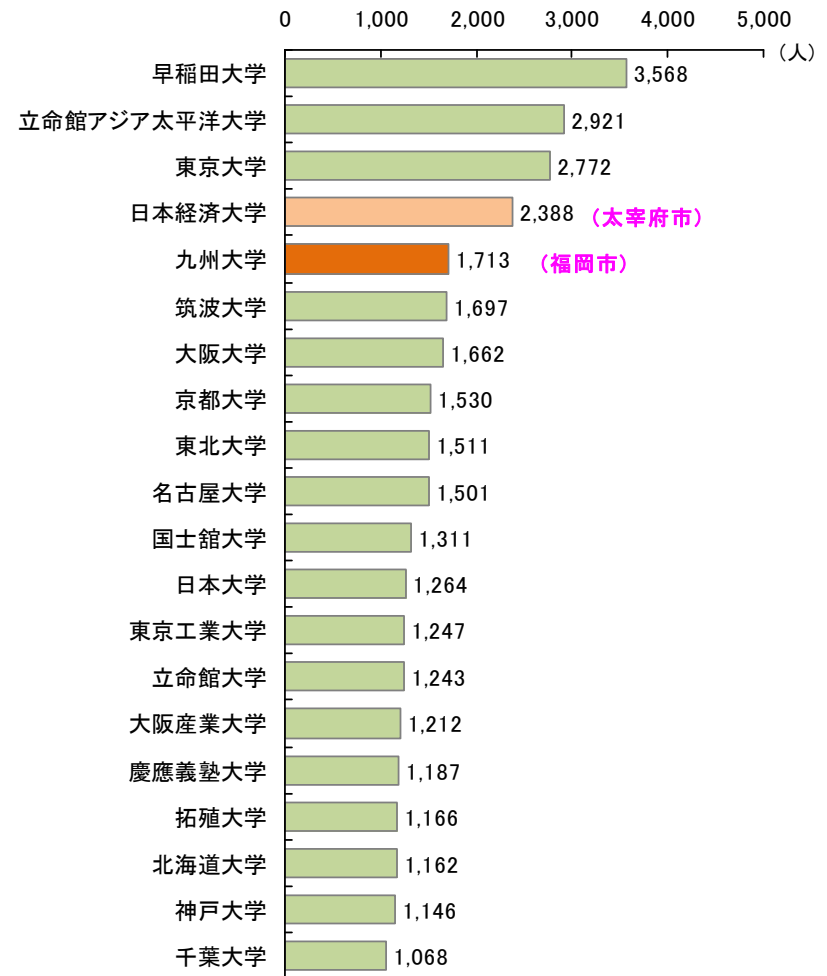
●福岡(県)は、全国でも留学・就学生が多い地域である

留学生・就学生受入上位都道府県(2010年)



資料:(独)日本学生支援機構「平成22年度外国人留学生在籍状況調査結果」
(注)2010年5月1日現在在籍数

国内の留学生受入数上位大学

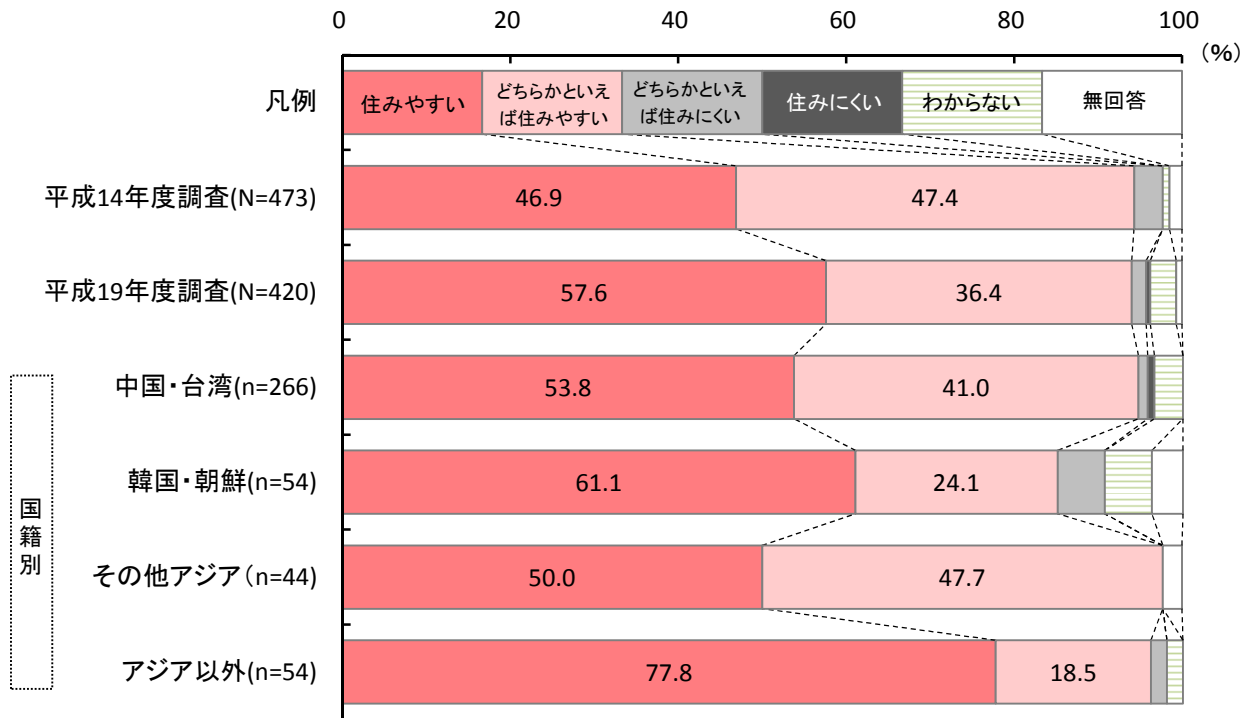


資料:(独)日本学生支援機構「平成22年度外国人留学生在籍状況調査結果」
(注)2010年5月1日現在在籍数

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

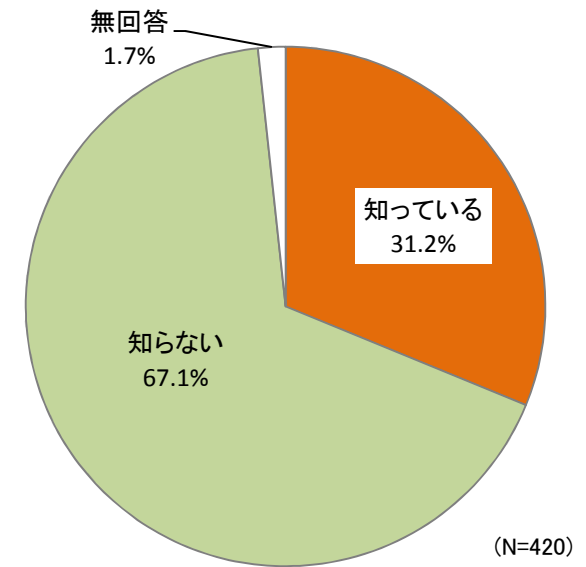
- 福岡市在住の外国人の多くが、住みやすいと回答しているが、災害避難場所など、緊急時に必要な情報を持っていない方が多い

外国人の福岡市住みやすさ評価



資料: 福岡市「平成19年度外国籍市民アンケート報告書」(2008年3月)
(注)福岡市の外国人登録者のうち居住年数5年未満の20歳以上男女が対象

福岡市在住外国人の自宅近くの災害避難場所認知状況

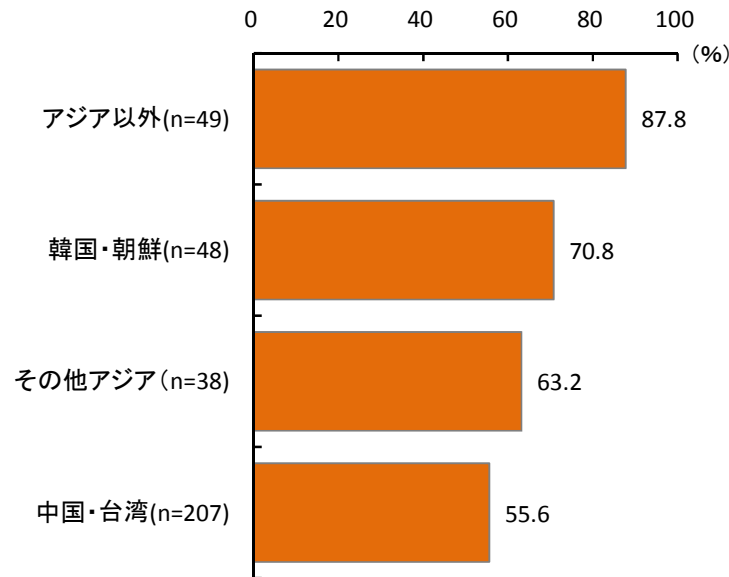


資料: 福岡市「平成19年度外国籍市民アンケート報告書」(2008年3月)
(注)福岡市の外国人登録者のうち居住年数5年未満の20歳以上男女が対象

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

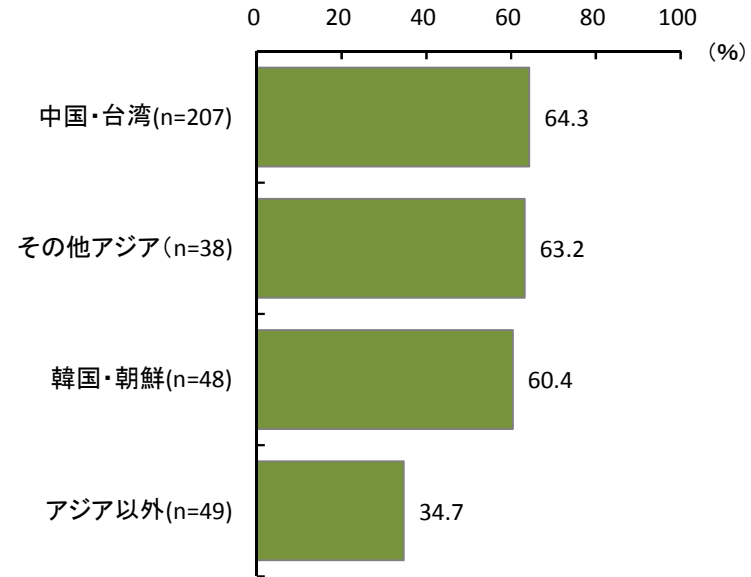
●福岡市在住の外国人には、近所に相談できる日本人や同じ国の人が少ない方も少なくない

福岡市在住外国人の国籍別 近所の相談できる日本人がいる人
(日常生活で困ったときに相談できる人が「いる」と回答した人)



資料: 福岡市「平成19年度外国籍市民アンケート報告書」(2008年3月)
(注)福岡市の外国人登録者のうち居住年数5年未満の20歳以上男女が対象
相談できる人が「いる」とした人の国籍が「日本人」と回答した人の割合

福岡市在住外国人の国籍別 近所の相談できる同じ国の人がいる人
(日常生活で困ったときに相談できる人が「いる」と回答した人)

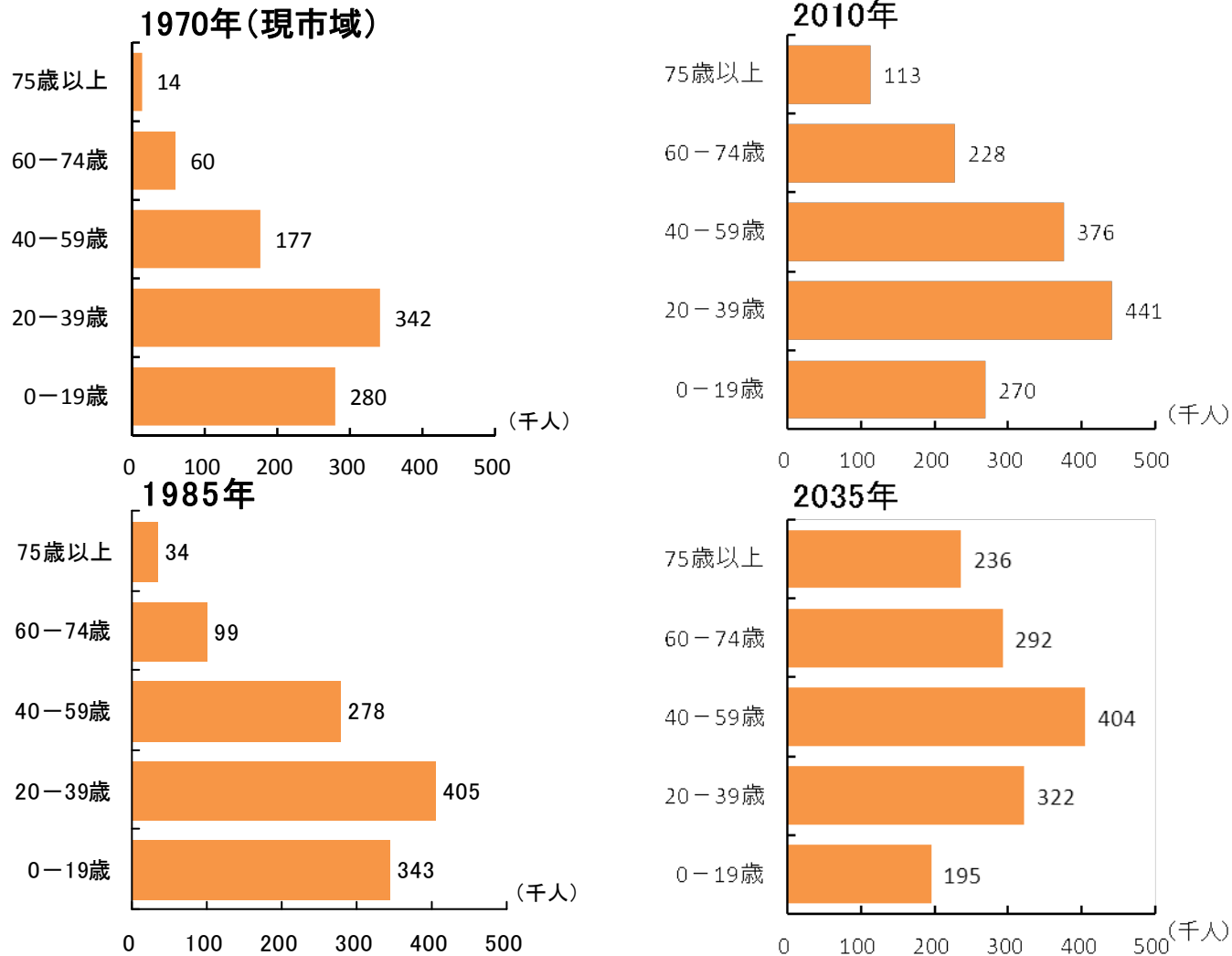


資料: 福岡市「平成19年度外国籍市民アンケート報告書」(2008年3月)
(注)福岡市の外国人登録者のうち居住年数5年未満の20歳以上男女が対象
相談できる人が「いる」とした人の国籍が「同じ国の人」と回答した人の割合

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

● 2035年、福岡市民の2人に1人が65歳以上になると予測されている

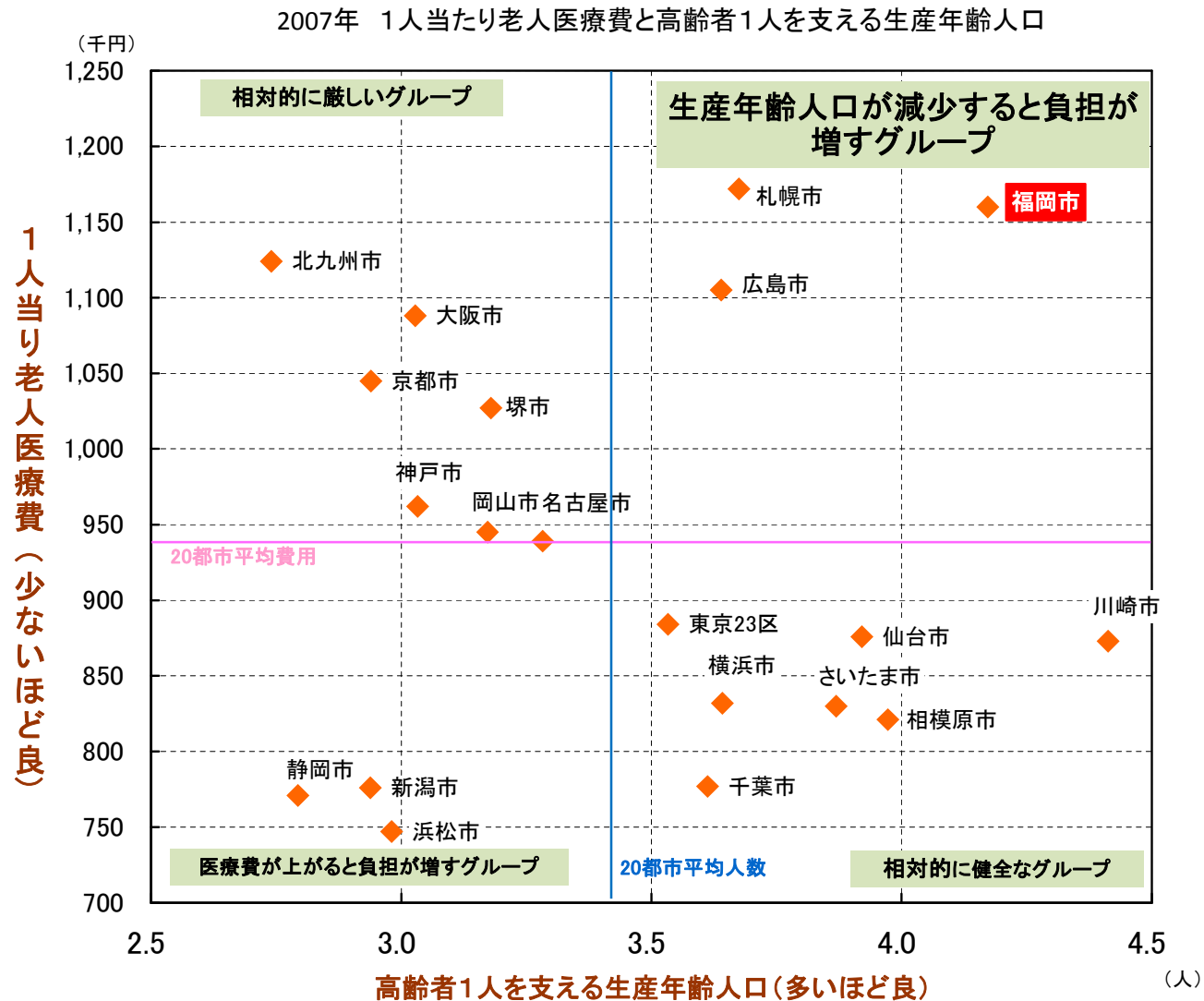
福岡市の構造別人口の推移



資料: 国勢調査(1970年、1985年、2005年)、国勢調査抽出速報値(2010年)、国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」(2035年)

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

●老人医療費が高い福岡市は、生産年齢人口が減少すると、高齢者を支えきれなくなる



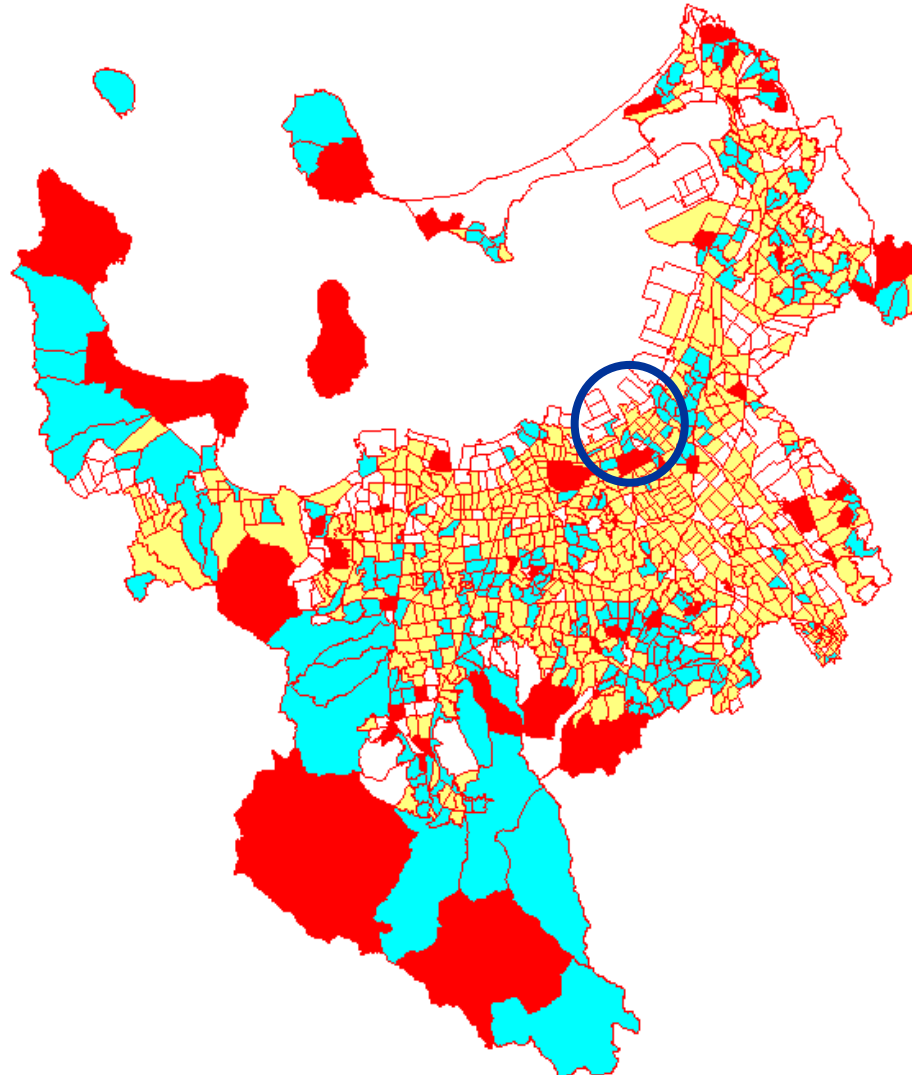
資料: 厚生労働省「老人医療事業報告」平成19年度、住民基本台帳登録人口 平成19年

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

● 高齢化率を見ると、2005年時点で都心エリアにも20%以上の高齢化率の地区が多数出現

高 齢 化 率			
NO	以上	条件	未満
1		0 <= 割合(%) <	10
2		10 <= 割合(%) <	20
3		20 <= 割合(%) <	30
4		30 <= 割合(%) <	
5		<= 割合(%) <	
6		<= 割合(%) <	
7		<= 割合(%) <	
8		<= 割合(%) <	
9		<= 割合(%) <	
10		<= 割合(%) <	
11		<= 割合(%) <	
12		<= 割合(%) <	
13		<= 割合(%) <	
14		<= 割合(%) <	
15		<= 割合(%) <	
16		<= 割合(%) <	
17		<= 割合(%) <	
18		<= 割合(%) <	
19		<= 割合(%) <	
20		<= 割合(%) <	
21		<= 割合(%) <	
22		<= 割合(%) <	
23		<= 割合(%) <	
24		<= 割合(%) <	

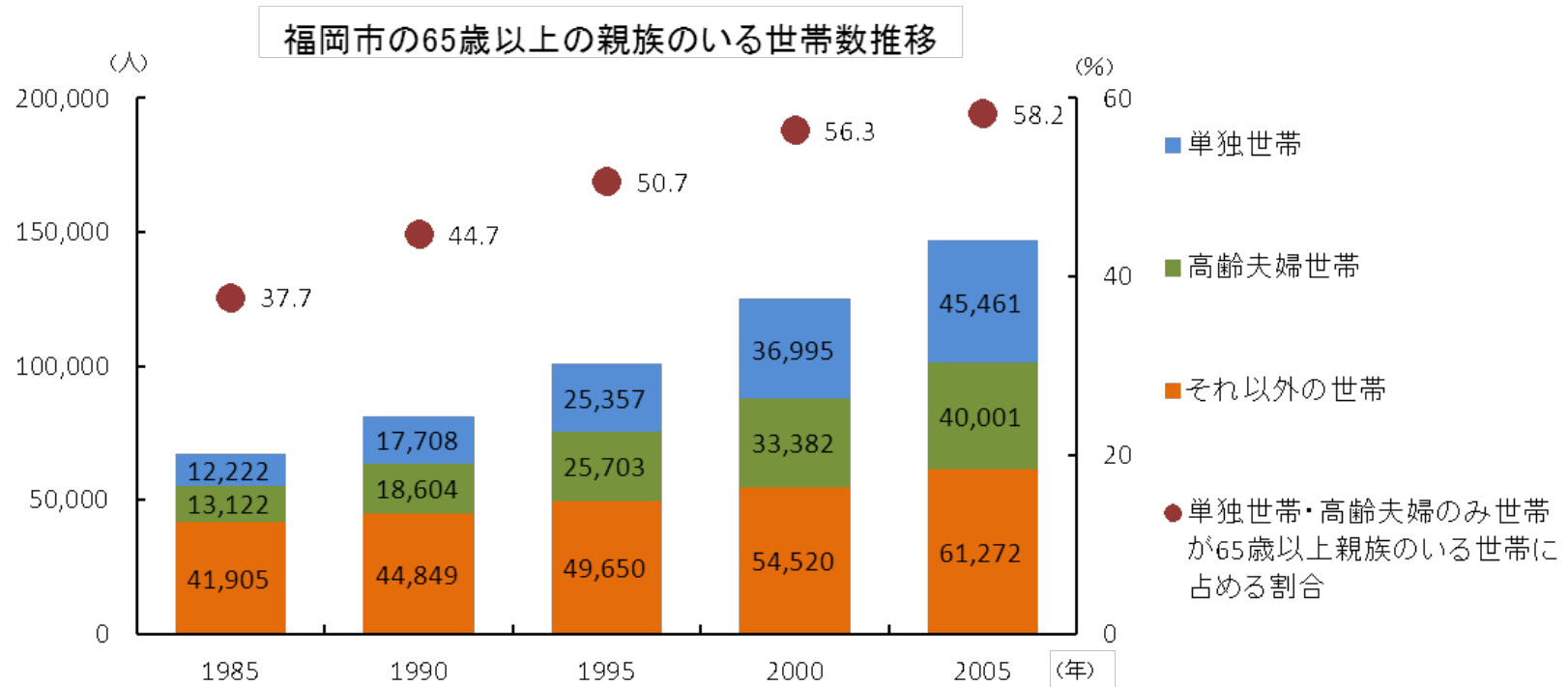
数値表示 色塗り



資料: 2005年国勢調査 (注) GIS分析は福岡市による

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

●福岡市では、高齢者のいる世帯において、単独世帯の割合が急増中



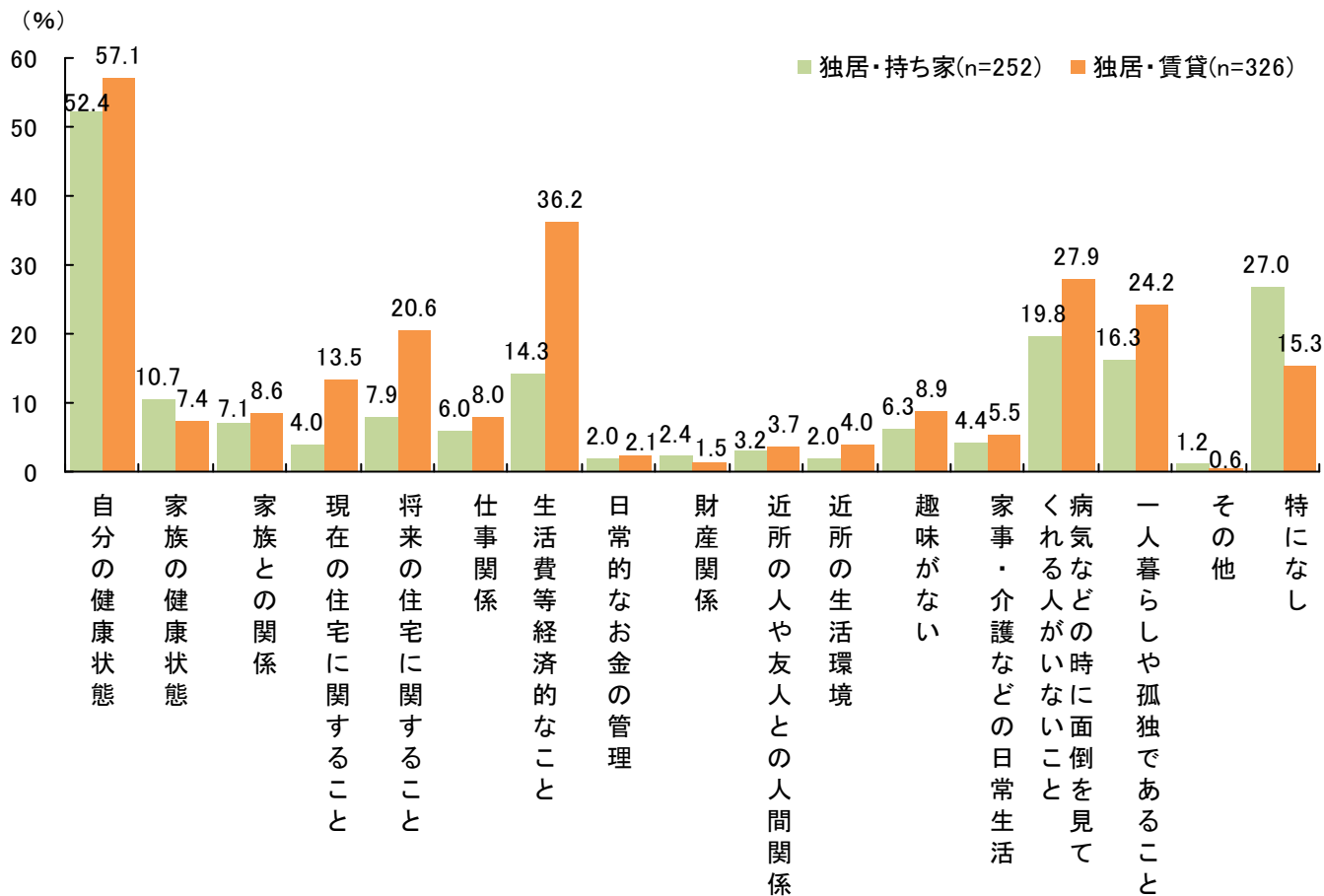
資料: 国勢調査

(注) 高齢夫婦世帯は、夫が65歳以上で妻が60歳以上と妻が65歳以上で夫が60歳以上の夫婦のみの一般世帯

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

●賃貸住宅に、ひとり暮らしする高齢者の心配・悩みの上位には「経済的なこと」

65歳以上の単身世帯における住居形態別にみた心配事や悩み事

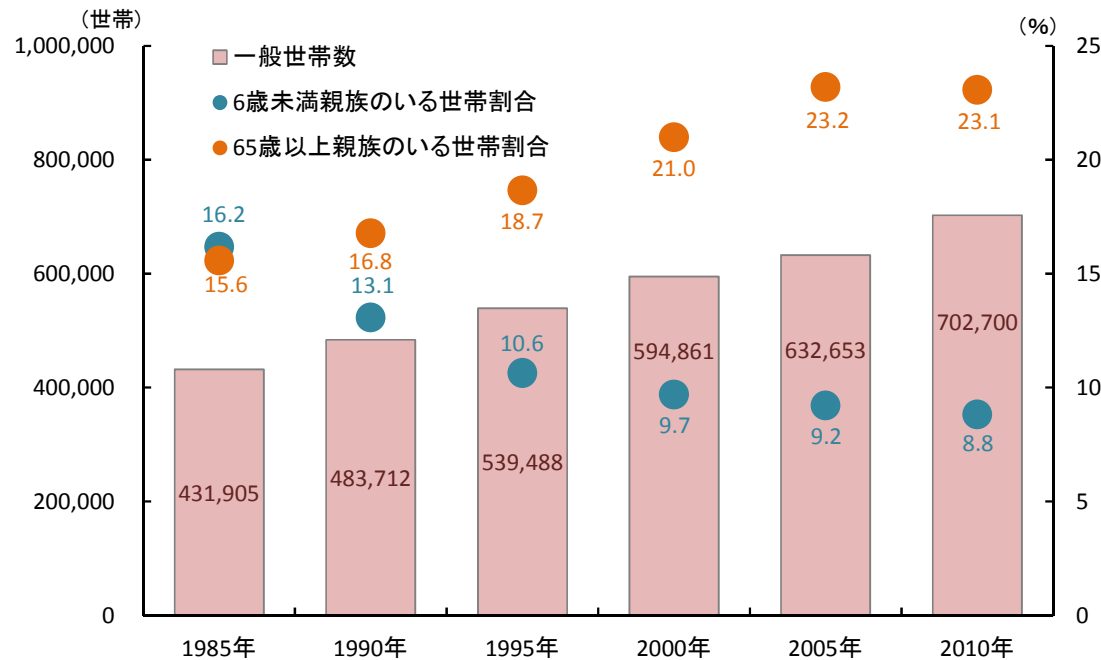


資料:福岡市保健福祉局「平成22年度 福岡市高齢者実態調査」より集計

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

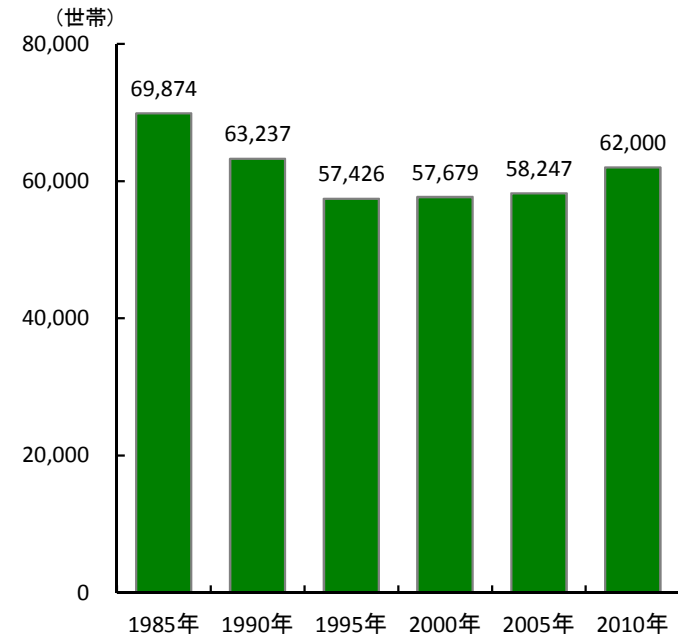
- この25年で、高齢者のいる世帯割合は増加、6歳未満の子がいる世帯割合は減少
 - 6歳未満の子のいる世帯割合は減少したが、世帯数は、この15年では増加傾向
- ＊子どもの数は減少したが、子を持つ親は減少していない

福岡市の世帯総数の推移と
6歳未満・65歳以上の親族のいる世帯割合の推移



資料：国勢調査
(注)2010年は1%抽出による速報値
(注)2010年は親族以外も含む世帯数

福岡市の6歳未満親族のいる世帯数推移

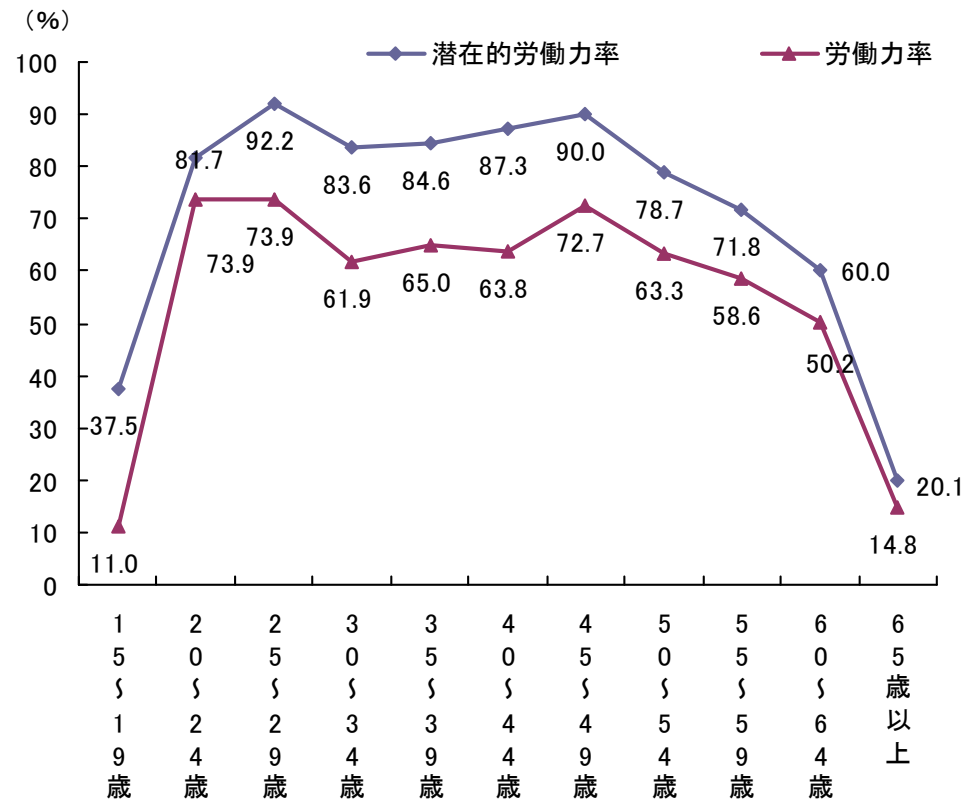


資料：国勢調査
(注)2010年は1%抽出による速報値
(注)2010年は親族以外も含む対象世帯員のいる世帯数

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

●福岡市では、女性が子育て時期に仕事を持たない、M字型労働スタイルが見られる

女性の年齢階級別労働力率・潜在的労働力率(福岡市)



資料: 福岡市「男女共同参画基本計画(第2次)」平成23年2月発行

(注) 総務省 平成19年就業構造基本調査を基に作成されたもの

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

● 日本女性のエンパワーメント指数の低さは、先進国では群を抜いている

GEM指数(※)

順位	国名	GEM値	順位	国名	GEM値
1	スウェーデン	0.909	26	南アフリカ	0.687
2	ノルウェー	0.906	27	コスタリカ	0.685
3	フィンランド	0.902	28	ギリシャ	0.677
4	デンマーク	0.896	29	キューバ	0.676
5	オランダ	0.882	30	エストニア	0.665
6	ベルギー	0.874	31	チェコ	0.664
7	オーストラリア	0.870	32	スロバキア	0.663
8	アイスランド	0.859	33	ラトビア	0.648
9	ドイツ	0.852	34	スロベニア共和国	0.641
10	ニュージーランド	0.841	35	マケドニア	0.641
11	スペイン	0.835	36	ペルー	0.640
12	カナダ	0.830	37	バルバドス	0.632
13	スイス	0.822	38	ポーランド	0.631
14	トリニダード・トバゴ	0.801	39	メキシコ	0.629
15	イギリス	0.790	40	リトアニア	0.628
16	シンガポール	0.786	41	エクアドル	0.622
17	フランス	0.779	42	セルビア共和国	0.621
18	アメリカ合衆国	0.767	43	ナミビア	0.620
19	ポルトガル	0.753	44	クロアチア	0.618
20	オーストリア	0.744	45	ブルガリア	0.613
21	イタリア	0.741	46	バーレーン	0.605
22	アイルランド	0.722	47	パナマ	0.604
23	イスラエル	0.705	48	キプロス	0.603
24	アルゼンチン	0.699	49	ウガンダ	0.591
25	アラブ首長国連邦	0.691	50	レソト王国	0.591
			57	日本	0.567

※ 109ヶ国中の順位

HDI(※)

順位	国名	HDI値
1	ノルウェー	0.971
2	オーストラリア	0.970
3	アイスランド	0.969
4	カナダ	0.966
5	アイルランド	0.965
6	オランダ	0.964
7	スウェーデン	0.963
8	フランス	0.961
9	スイス	0.960
10	日本	0.960

※ 182ヶ国中の順位

(※)HDI:人間開発指数

「長寿を全うできる健康な生活」、「教育」及び「人間らしい生活」という3つの側面を簡略化した指数である。具体的には、平均寿命、教育水準(成人識字率及び就学率)、調整済み1人当たり国民所得を用いて算出している。

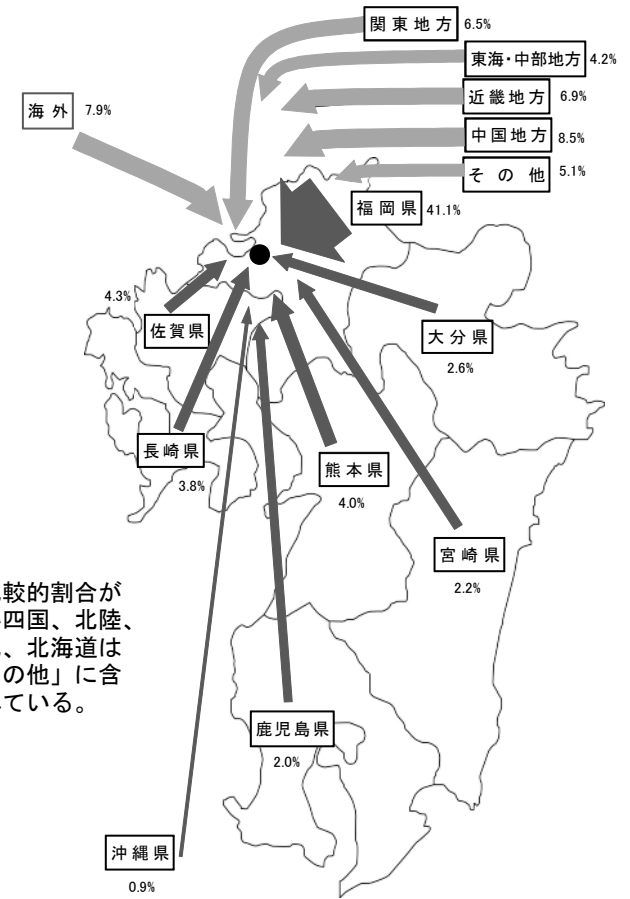
(※)GEM:ジェンダー・エンパワーメント指数
女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測るもの。HDIが人間開発の達成度に焦点を当てているのに対して、GEMは能力を活用する機会に焦点を当てている。具体的には、国会議員に占める女性割合、専門職・技術職に占める女性割合、管理職に占める女性割合及び男女の推定所得を用いて算出している。

資料:国連開発計画(UNDP)
[Human Development Indices:A statistical update 2009]
より作成

II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

- イギリスの雑誌モノクルにて**最も住みやすい都市の17位⇒16位⇒14位⇒16位**
- 多くの観光客が訪れる福岡は、外から来た人への**ユニバーサルデザインも重要**

来福観光客の居住地域別割合(2010年)



※比較的割合が低い四国、北陸、東北、北海道は「その他」に含まれている。

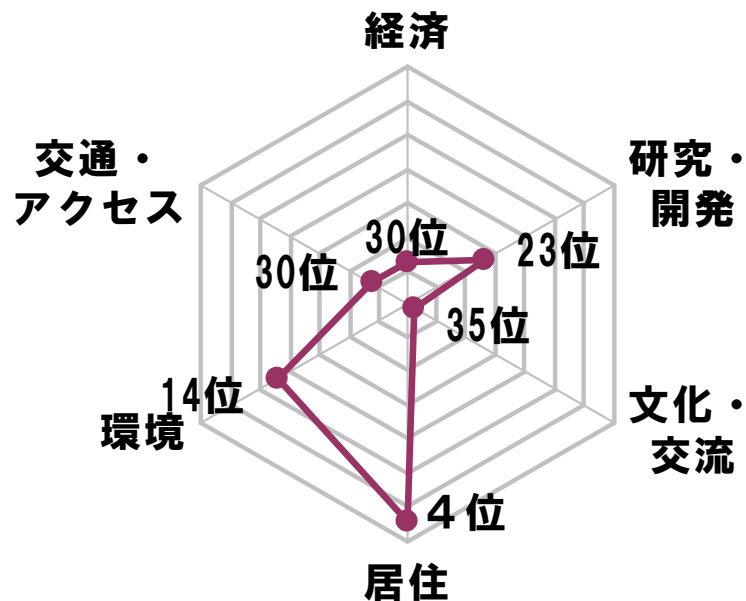
福岡は親しみやすく国際的だが、東京に比べれば規模の小さい都市だ。しかし食事と買い物では日本の首都を上回る。だからこそモノクルが選ぶ「ショッピング」のベストシティは福岡で決まりだ。

資料: 福岡市「平成21年度福岡市観光客動態調査報告書」(2010年3月)
(注) 調査票調査による(N=1,247)

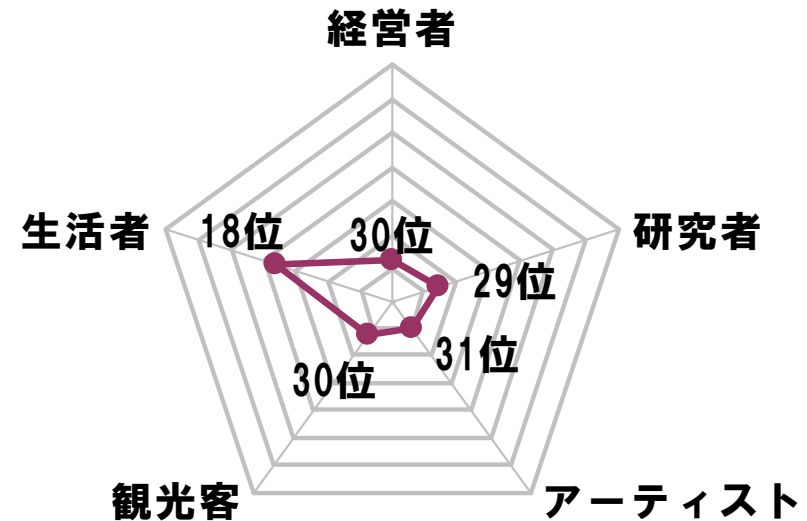
II. 福岡の今と未来(5)すべての人にやさしいまち

- 世界の都市総合力ランキング(森記念財団)では福岡市は28位
- しかし、分野別・アクター別で見ると、**文化・交流・経済・研究**などの面では評価は低迷

福岡市の**分野別**順位



福岡市の**アクター別**順位



Ⅲ. 25年前を思い出しつつ、25年後を展望

25年前を思い出しつつ、議論を進めていきましょう

昭和100年の独居老人
554万世帯
現在の3倍

世帯モデル研究会が推計



女性が3分の2

3世代同居増える



国際化、都市環境などを討議
大濠公園の浄化で苦言も

都市像語る市民フォーラム



1986年2月21日
泉重千代が120歳で死去
(江戸時代生まれの人物が居なくなる)

1986年4月1日
男女雇用機会均等法施行

1986年11月12日
福岡市地下鉄箱崎線全通

- 1986年 新語・流行語大賞**
- 新語部門**
- 金賞 究極
 - 銀賞 激辛
 - 銅賞 ファミコン
- 流行語部門**
- 金賞 新人類
 - 銀賞 知的水準
 - 銅賞 「亭主元気で留守がいい」
 - 大衆賞 おニャン子
 - 大衆賞 「プツン」

円、一時161円80銭に
日銀が大量ドル買い介入

<http://f-shinvision.jp>

概ね翌週火曜日にはUPLします